



アロニオール®

超高機能保護被覆工法 | アクリルゴム・外壁化粧防水

☑ JIS A 6021 建築用塗膜防水材 外壁用 アクリルゴム系 JPIA JP0409001

2025年3月版



日本の壁を、強く、キレイに。

東亜合成株式会社

アロンウォール®は建物の長寿命化

きびしい自然環境にさらされる

日本の建造物。

アロンウォール®は、

4つのコンセプトで建物の外壁を

長期間にわたって保護する

環境に配慮した工法です。

新築からリニューアルまで、
幅広いニーズにお応えします。

建物
保護

過酷な自然環境から
建物を長期間保護します。

施工前



美観
維持

アロンウォール®は、施工
ひび割れが全く発

いつまでも美しい
外観を維持します。

と環境に配慮した工法です。

環境に配慮した
工法を提案します。

環境
配慮

施工後

施工12年後

後10年以上経過しても
生じていません。

CP

コスト
パフォーマンス

ハイパフォーマンスで
トータルコストを
低減できます。

INDEX

建物保護	P03
美観維持	P05
環境配慮	P06
コストパフォーマンス	P07
アロンウオール塗膜の特性	P09
各種工法と仕上塗料の適性	P10
アロンウオール標準工程フロー	P11
アロンウオール標準工程フロー 国土交通省公共建築改修工事標準仕様書対応工法	P15
標準仕様一覧表	P17
アロン ACC 工法・剥落防止工法	P20
アロン ACC 工法	P21
剥落防止工法	P22
アロンウオール施工標準例	P23
施工品質管理体制	P24
テクニカルデータ	P25
施工事例	P27
アロンウオール工法使用材料	P33

過酷な自然環境から建物を長期間



保護します。



漏水と鉄筋腐食を防止します。

アクリルゴムの優れた柔軟性により、外壁にコンクリートの乾燥収縮に伴うひび割れが生じた場合でも、塗膜は破断し難く、雨水の浸入を長期間シャットアウトします。これにより、鉄筋の腐食やアルカリ骨材反応によるコンクリートの膨張ひび割れを防ぎます。



大規模集合住宅 (千葉県)

コンクリートの劣化を防止します。

1mm厚のアロンウオール塗膜は、コンクリートのかぶり厚さ5mに相当します。アロンウオールは、優れた気密性により、炭酸ガスを遮断し、コンクリートの中性化を防止します。更に、改修工事によりアルカリ(中性化)復元効果などの優れた性能を発揮します。



九州電力 川内原子力発電所 (鹿児島県)

ALCパネル外壁の劣化を防止します。

アロンウオールは、炭酸ガス、水分、塩化物イオンの浸入を防ぐので、炭酸化、塩害、凍害などによるALCパネルの劣化を防止します。また、ALCパネルのみならず目地を含めた連続被覆により、目地のシーリング材を保護し、防水性と共に耐久性も向上させます。



紋別暴露試験場 (紋別市)

塩害や凍害も防止します。

外部からの塩化物イオンや酸素・水分の浸透を防止し、RC構造物の塩害による早期劣化を防ぎます。また、防水性とコンクリート内部の水分を外部に放出する呼吸性を併せ持っているため、躯体を常に乾燥状態に保ち、凍害防止にも優れた性能を発揮します。



塩害対策暴露センター (沖縄県)

外壁仕上げモルタルなどの剥落を防止します。

アロンウオールは、長期の柔軟性と躯体保護機能により、外壁仕上げモルタルなどの剥離・剥落を防止し、地震などの災害時にも、被害を軽度を抑えることができます。

阪神・淡路大震災時においても被害軽減を実証

アロンウオールは、長期柔軟性と躯体保護機能により、大地震の際にも、下地を含む仕上材の剥落など被害を軽度抑



アロンウオール塗布外壁の状況



一般的な外壁の状況

優れた耐久性で 美しい外観を長期間維持します。



ひび割れを目立たなく、しかも再発を防ぐ補修方法です。

ひび割れ部の処理に下地挙動緩衝材「アロンウオールSH」を塗布し、アロンウオール®を施工することにより、「長期にわたるひび割れの再発防止」や「ひび割れ部」を目立たなくすることができます。

従来のUカットシール材充填工法は、施工時に騒音や塵埃（石綿を含む場合は石綿粉塵）を発生させ、ひび割れ処理跡が残るばかりでなく、経年によって更に目立つことがあります。

[アロンウオールSHによる補修]

施工前

アロンウオール®施工後15年経過



[従来工法による補修]

施工後数年経過



雨で汚れを洗い流す「低汚染仕様」も可能です。

耐久性に優れたトップコート表面の親水化技術で、塗膜に付着した汚れを雨で徐々に洗い流します。

アロンウオールの優れた柔軟性に、汚れが付着し難いこの「低汚染仕上仕様」を加えて、建物の美しさを長期間維持させることに成功しました。

◎充実した低汚染仕上塗料のラインアップ

水系 アロンHSカラーSi-1000

アロン水性スーパーカラーSi

アロン水性スーパーカラーF

弱溶剤系 アロンHSカラーSi-3000

アロンMDカラーU

アロンMDカラーSi

※塗装作業の環境条件や耐久性から選定できます。

◎低汚染仕上塗料の比較(例)

汚染性(屋外暴露1年、暴露地:東京)

溶剤系アクリルウレタン
アロンウオール
FC(DX)Aカラー



水系アクリルシリコン
アロン水性
スーパーカラーSi



弱溶剤系アクリルウレタン
アロンMD
カラーU



弱溶剤系アクリルシリコン
アロンMD
カラーSi



環境に配慮した工法を 提案します。



オール水性仕様を提案しています。

東亜合成は、VOC(揮発性有機溶剤)規制など環境配慮に対する取り組みの一環として、オール水性仕様を提案しています。
オール水性仕様は、プライマー、防水材および仕上塗料共に、溶媒に有機溶剤を使用しない水系材料から構成されています。
作業中の作業員、居住者だけでなく近隣にも配慮した地球環境に優しい工法です。



国土交通省近畿地方整備局紀南河川国道事務所
(和歌山県)

◎オール水性仕様工程表(例):STM工法(リップル状仕上げ、リビエール仕上げ)

工程	材料	外観性状	使用量 ^{※1} (kg/m ²)	塗布回数	備考
プライマー	アロン水性プライマー または アロン水性マルチプライマー	水性エポキシ樹脂プライマー	^{※2} 0.1~0.3kg/m ²	1~2回塗り	可使時間、乾燥時間、成膜時間などについては、別途標準仕様書をご参照下さい。
防水材	アロンコートST	アクリルゴム系防水材	2.0kg/m ²	3回塗り	
仕上塗料	アロン水性 スーパーカラーSi	低汚染・水性アクリルシリコン 樹脂エマルジョン	0.3kg/m ²	2回塗り	

※1使用量は塗布回数合計での量。

※2プライマーの所要量、可使時間などは、下地の種類および状態・施工環境などによって異なります。

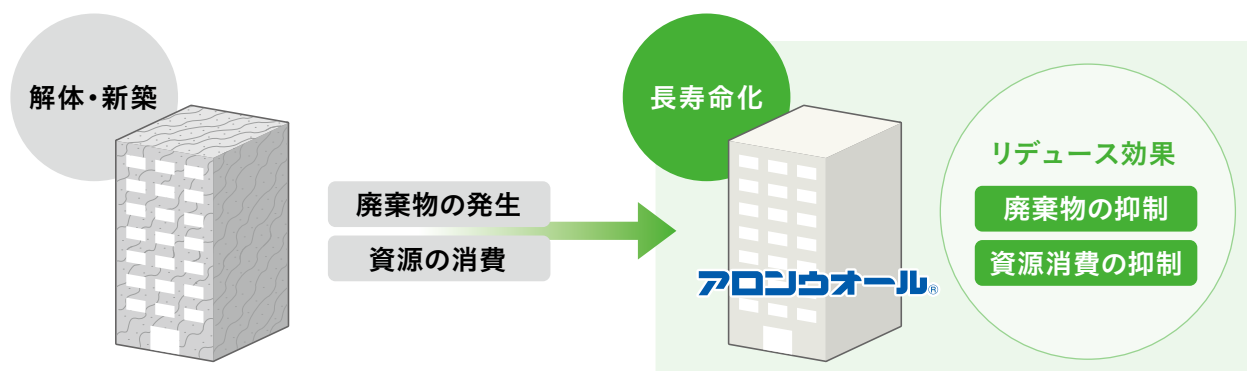
長寿命化でリデュース(廃棄物の減量)に 貢献します。

資源の消費を抑え、廃棄物の発生を抑制することは、地球環境を守り、限りある資源を未来につなげる私たちの使命です。
建物を長期にわたり保護するアロンウオール®は、
リデュース[※]効果が期待される製品として、環境保護に貢献します。



株式会社ニチレイ・ロジスティクス四国(徳島県)

※リデュース・・・環境負荷や廃棄物の発生を抑制するために無駄・非効率な消費・生産を抑制あるいは行わないこと。



ハイパフォーマンスで トータルコストを低減します。



[外壁改修] 下地処理費を低減できます。

アロンウオールで外壁を改修する際、目地部やサッシ回りのシーリング材なども外壁と共に一体で被覆するため、既存シーリングの劣化状態によっては、処理費用が低減できる場合があります。
また、アロンウオール塗膜で被覆することにより、シーリング材を保護する効果も期待できます。

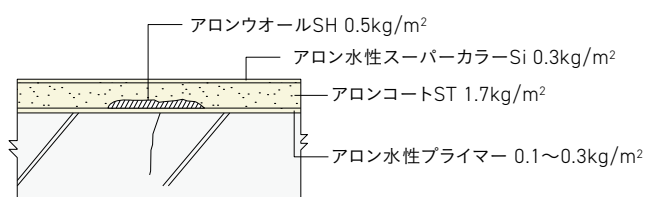


ひび割れ処理費を低減します。

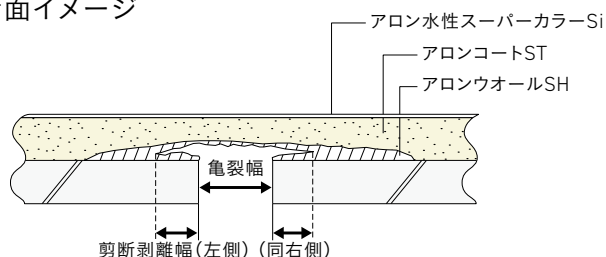
アロンウオール施工時において、ひび割れ処理に下地挙動緩衝材「アロンウオールSH」を塗布すると、従来のUカットシール材充填工法で必要とされていた熟練技術や工事日数を削減でき、下地処理費用の低減が可能になります。



◎アロンウオールSH塗布時 断面イメージ



◎アロンウオール®SH塗布後(ひび割れ発生時) 断面イメージ



◎アロンウオールSH塗布によるアロンウオールのひび割れ追従性向上効果

下地変位	アロンウオール。(標準) 【アロンウオール®SH塗布なし】	アロンウオール。 アロンウオール®SH塗布 (0.5kg/m² 約50mm幅で塗布)	備考
単純ゼロスパン テンション 	7mm	20mm	アロンコートST塗膜の破断時(ピンホール)の亀裂幅(ひび割れ追従幅)を示した。
上下変動 	12mm	32mm	
前後変動 	15mm	29mm	

※本データは、測定値であり、保証値ではありません。

次回改修にはアロンウオールリフレッシュ工法をご提案します。



金沢八景ハイム (アロンウオールリフレッシュ工法 RA-STM工法)



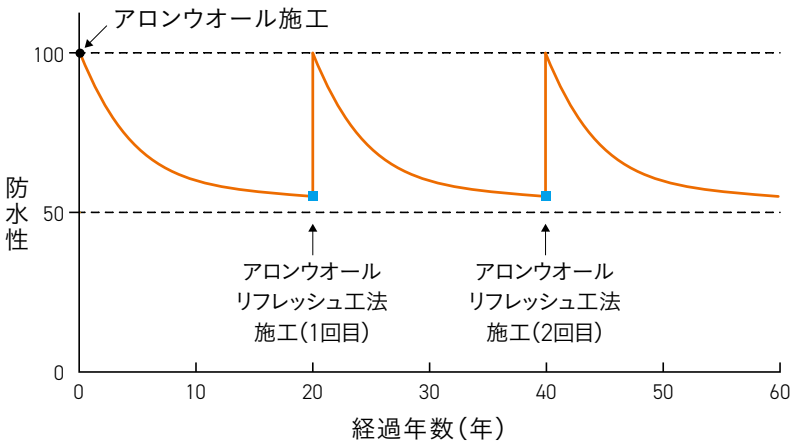
東亜合成本社ビル
(アロンウオールリフレッシュ工法 RB-MS工法)

アロンウオールリフレッシュ専用工法

アロンウオール®の次回改修時には安価な専用 ◎メンテナンスモデル(例)

塗替え工法(アロンウオールリフレッシュ工法)をご提案します。

アロンウオールリフレッシュ工法とは、超高機能保護被覆材「アロンウオール」施工後15～20年を目安に塗り替える場合の専用工法です。化粧防水・躯体保護の各機能を復元させ、建物のライフサイクルコスト低減を図ることが出来ます。



◎アロンウオールリフレッシュ工法の工程例

工程	使用材料	塗装方法	標準使用量 (kg/m ²)			塗布回数
			RA-ST工法※1	RA-STM工法※1	RA-NEO工法※1	
下地の確認及び清掃			別途			
プライマー	アロン水性プライマー または アロン水性マルチプライマー	ローラー塗布	0.1	0.1	—	1回
プライマー兼防水材	アロンコートSX	ローラー塗布	—	—	0.5	1回
防水材	アロンコートST	ローラー塗布	—	0.7	0.7	1回
	アロンコートST	ローラー塗布	—	0.7	—	1回
	アロンコートST	吹付け	1.2	—	—	1回
	アロンコートST	吹付け	0.2	—	—	1回
仕上材	各種仕上塗料※2	ローラー塗布	0.2～0.3	0.2～0.3	0.2～0.3	1～2回

※1: アロンウオールリフレッシュ工法の工法名を示す。※2: 「特性および各種工法との適合性一覧表」(P.10)をご覧ください。

※ 表中のRA-○○工法とは、リフレッシュ工法の標準工法を示す記号であり、例えば、RA-STM工法はSTM工法専用のリフレッシュ工法という意味ではありません。

工程	使用材料	塗装方法	標準使用量 (kg/m ²) RB-MS工法※4	塗布回数
下地の確認及び清掃			別途	
プライマー(目地と周辺部)	アロン水性マルチプライマー(黒)※3	ローラー塗布	0.1	1回
目地棒張付け	目地棒	—	(2枚重ね)	—
プライマー	アロン水性マルチプライマー	ローラー塗布	0.1～0.3	1～2回
模様材(下塗り)	アロンウオールMS[下塗り]	ローラー塗布	1.5	1回
目地棒上部の離形紙撤去	—	—	(模様材表面乾燥前)	—
模様材(上塗り)	アロンウオールMS[上塗り]	ローラー塗布	1.3	1回
目地棒撤去・清掃	—	—	(模様材乾燥後)	—
目地タッチアップ(別途)	アロン水性マルチプライマー(黒)※3	筆など	適宜	—
仕上塗料塗布	アロンウオールMS水性クリアー	ローラー塗布	0.22(2回計)	2回

※3: アロン水性マルチプライマー(16kg/缶)にアロンコート用水性着色剤黒3袋添加

※4: アロンウオールリフレッシュ工法RB-MS工法は化粧機能のみの復元となります。

東亜合成は、外壁化粧防水材に対する時代の要因をいち早くとらえ、業界に先がけてアクリルゴム系外壁化粧防水「アロンウオール」を開発し、「アクリルゴム系」の概念を打ち立てました。

当社の提唱する「アクリルゴム(アロンコートST)」とは、

① 主材中の固形成分は70%以上

垂直面に1000 μ m近い塗膜厚を形成させるためには、高い固形分濃度が必要です。

② 塗膜中の樹脂量は55%以上

塗膜中の樹脂量が少ないと、伸び性能が低下し、下地ひび割れに対する追従性が低下するばかりか、気密性に劣り、中性化や塩害などの早期劣化を防止できなくなります。

③ アクリルゴム中の2-エチルヘキシルアクリレート(HA)の量は90%以上

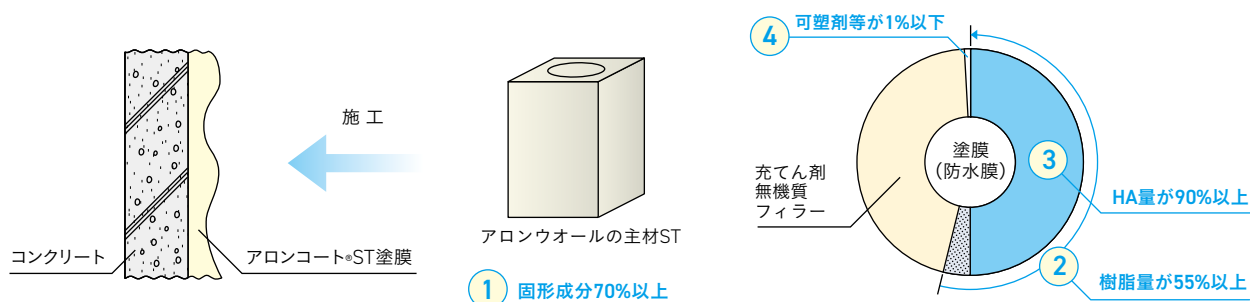
防水材に使用するアクリルゴムは、低温から高温まで高い柔軟性が要求されます。この様なアクリルゴムを作るには、2-エチルヘキシルアクリレート(HA)というアクリルのモノマーを90%以上使用(低温の-60℃でも柔軟性を保持)する必要があります。

④ 塗膜中の可塑剤等の抽出成分量は1%以下

可塑剤は塗膜を柔らかくする添加剤で、これを添加すると硬い塗膜でさえ柔らかくすることができます。しかし、可塑剤の添加により柔軟性を持った塗膜は可塑剤が徐々に逸散してしまうために、短期間で初期のひび割れ追従性は失われます。

アクリルゴム(アロンコートST)とは	4つの品質規格	防水機能 (ひび割れ追従性)	躯体保護機能 (劣化要因シャ断機能)	耐久性
	① 主材中の固形成分は70%以上	◎	○	○
	② 塗膜中の樹脂量は55%以上	◎ 耐疲労性	◎	◎
	③ アクリルゴム中の2-エチルヘキシルアクリレートの量は90%以上	◎ 低温下の伸び	◎ しゃ塩性	○
	④ 塗膜中の可塑剤等の抽出成分量は1%以下	○	○	◎

(%は全て重量%)



上記の条件を全て満たして、はじめて長期にわたって優れた下地ひび割れ追従性や、気密性を維持する外壁化粧防水材となります。これがアクリルゴム系外壁化粧防水「アロンウオール」なのです。

各種工法と仕上塗料の適性

アロンウオール®

◎各種工法

○：対応 ×：非対応 △：準対応 —：設定なし

工法名		ST工法※2		STM工法※2		NEO工法		MS工法	漆喰工法	ER工法		アロンウオール ピン・ネット剥落 防止工法	アロンACCピン ネット剥落防止 工法
仕上り		スター状 仕上げ	小粒 仕上げ	リップル状 仕上げ	リビエール 仕上げ	リップル状 仕上げ	リビエール 仕上げ			リシン 仕上げ	ジュラク調 仕上げ		
工法特性	オール水性	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	低汚染仕様	○	○	○	○	○	○	—	○	—	—	○	使用する仕上 材による
	艶消し仕上げ	○	○	○	○	○	○	—	○	—	—	○	
	剥落防止性	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	○	○
用途	新築	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○
	改修	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
規格適合性	JIS A6021 (建築用塗膜防水材・ 外壁用)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	日本建築学会 建築工事標準仕 様書JASS8	○	○	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—
	国土省 公共建築改修工事標準 仕様書	○※1	○※1	○※1	○※1	—	—	○※1	○※1	○※1	○※1	—	—
	国土省 建築工事監理指針	○	○	○	○	—	—	○	○	○	○	—	—
	国土省 建築改修工事監理指針	○	○	○	○	—	—	○	○	○	○	—	—

※1 国土省公共建築改修工事標準仕様書へ準拠するには、該当工法の防水材（アロンコートST）標準使用量を0.1kg/m²増やす必要があります。

※2 アロンコートST（防カビ剤入り）と防カビ対応仕上塗料を用いることで防カビ工法となります。

◎特性および各種工法との適合性一覧表

●：標準仕様 ○：対応

仕上塗料（トップコート）			標準使用量 （工率数）	低汚染性	特殊対応※4		適用工法					
液性	名称	外観性状			防カビ 対応	艶消し 対応※1	ST 工法	STM 工法	NEO 工法	MS工 法	漆喰 工法	ER 工法
水系	アロン水性スーパーカラー-Si	低汚染・水性アクリルシリコン樹脂エマ ルション塗料	0.15kg/m ² × (2回)	○※7	○	○※2	●	●	○		●	
	アロン水性（DX）スーパーカラー	水性アクリルウレタン樹脂エマルシ ョン塗料	0.15kg/m ² × (2回)			○	○	○	○			
	アロン水性スーパーカラーF〔下塗用〕	下塗用：水性アクリルシリコン樹脂エマ ルション	下塗用： 0.15kg/m ²	○	○		○	○	○		○	
	アロン水性スーパーカラーF〔上塗用〕	上塗用：フッ素樹脂エマルション	上塗用： 0.15kg/m ²	○	○	○※2	○	○	○		○	
	アロン水性カラー	水性アクリル樹脂エマルション塗料	0.15kg/m ² × (2回)		○	○	○	○	○			
	アロンHSカラー-Si-1000※8※9	低汚染・水性アクリルシリコン樹脂エマ ルション塗料	0.2～0.25kg/m ² × (1回)	○※7	○	○※2	○	○	●			
	アロンコートERリシンベース	水性アクリル樹脂エマルション塗料	-		○※5							●※6
	アロンウオールMS水性クリヤー	水系アクリルシリコン樹脂クリヤー塗 料（3分艶）	0.11kg/m ² × (2回)							●		
弱溶剤系	アロンHSカラー-Si-3000※8※9	低汚染・2液反応硬化形弱溶剤系アクリ ルシリコン樹脂塗料	0.2～0.25kg/m ² × (1回)	○※7				○	○	○		
	アロンMDカラー-U	低汚染・2液反応硬化形弱溶剤系アクリ ルウレタン樹脂塗料	0.15kg/m ² × (2回)	○※7	○※5	○	○	○	○			
	アロンMDカラー-Si	低汚染・2液反応硬化形弱溶剤系アクリ ルシリコン樹脂塗料	0.15kg/m ² × (2回)	○※7		○	○	○	○	○		
溶剤系	アロンウオールFC（DX）Aカラー	2液反応硬化形溶剤系アクリルウレタン 樹脂塗料	0.15kg/m ² × (2回)		○※5	○	○	○	○			
	アロンウオールFC（DX） スーパーカラー	2液反応硬化形溶剤系アクリルウレタン 樹脂塗料	0.15kg/m ² × (2回)		○※5	○※3	○	○	○		○	
	アロンウオールシリコンFC（DX）カラー	2液反応硬化形溶剤系アクリルシリコン 樹脂塗料	0.15kg/m ² × (2回)		○※5		○	○	○			

※1：艶消し程度は、半艶消しに対応します。艶消しの程度をご選択の際は、別途お問い合わせ下さい。

※2：半艶消しと艶消し（底艶あり）が可能です。

※3：アロンウオールFC（DX）スーパーカラーは、漆喰工法のみ全艶消しに対応します。ただし白と黒のみとなります。

※4：アロン水性スーパーカラー-Siを除く各仕上塗料は、特殊対応において、防カビと艶消しを同時に行うことはできません。

※5：該当材料の防カビ入りをご希望の際は、「防カビ入り」とご指定下さい。

※6：アロンコートERリシンベースは、標準色B-15～B-18、特注濃彩色の調色はできません。

※7：以下の場合には低汚染性が発揮されない場合がありますのでご注意ください。

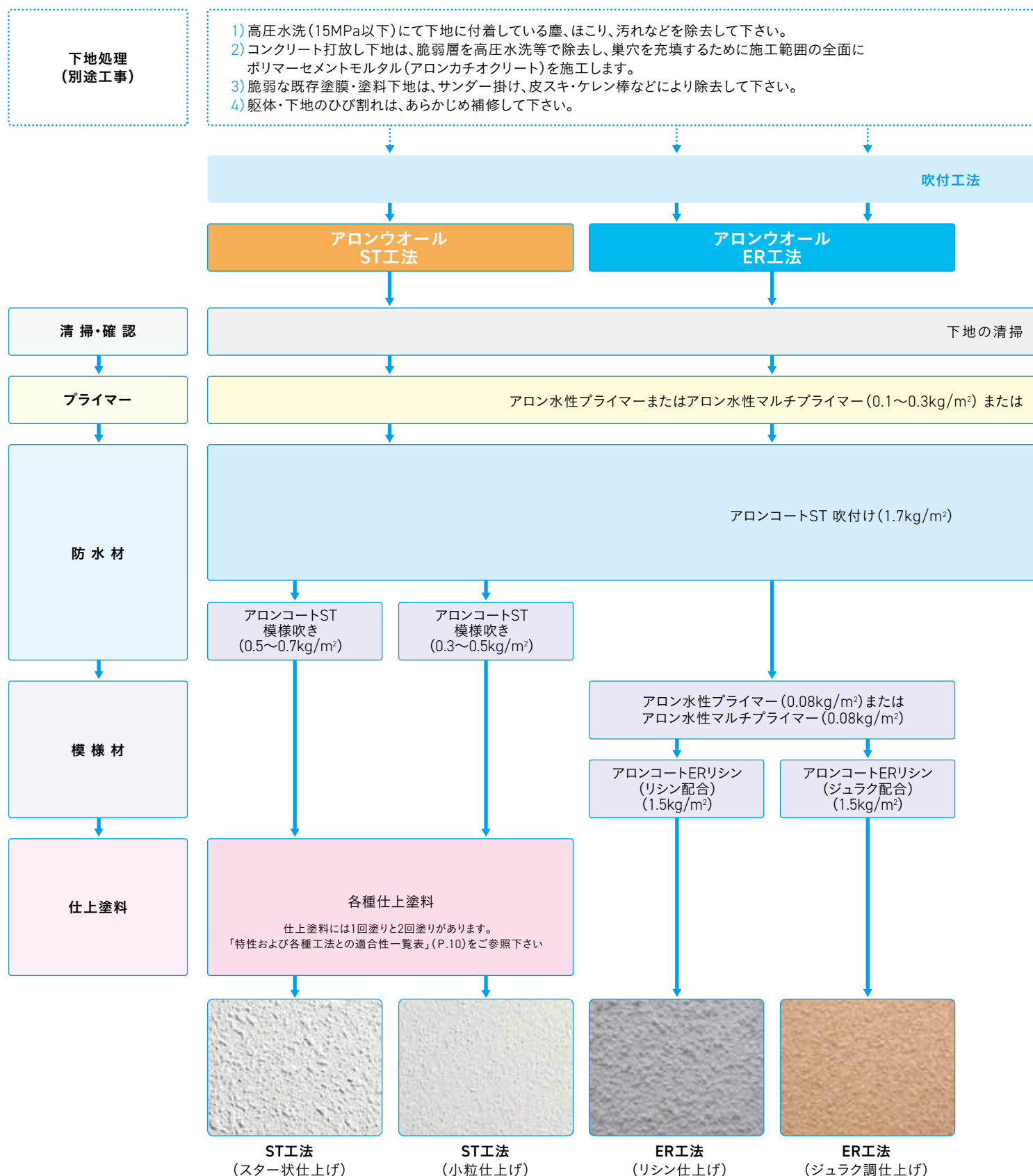
- ・傾斜壁の下端部、並木の木切りのない部位などや雨掛かりが少ない部位など
- ・施工後、塗膜が十分乾燥するまでに結露、降雨に晒された場合など

※8：アロンHSカラー-Si-1000、アロンHSカラー-Si-3000は1回塗りの仕上塗料ですが、1回塗りとは所定量の仕上塗料を縦横に均一に塗布することです。

※9：アロンHSカラー-Si-1000、アロンHSカラー-Si-3000は日本建築学会 建築工事標準仕様書JASS8、国土省 建築工事監理指針、国土省 建築工事改修監理指針には対応していません。

※：各仕上塗料は、調色できない色などがありますので、別途お問合せ下さい。

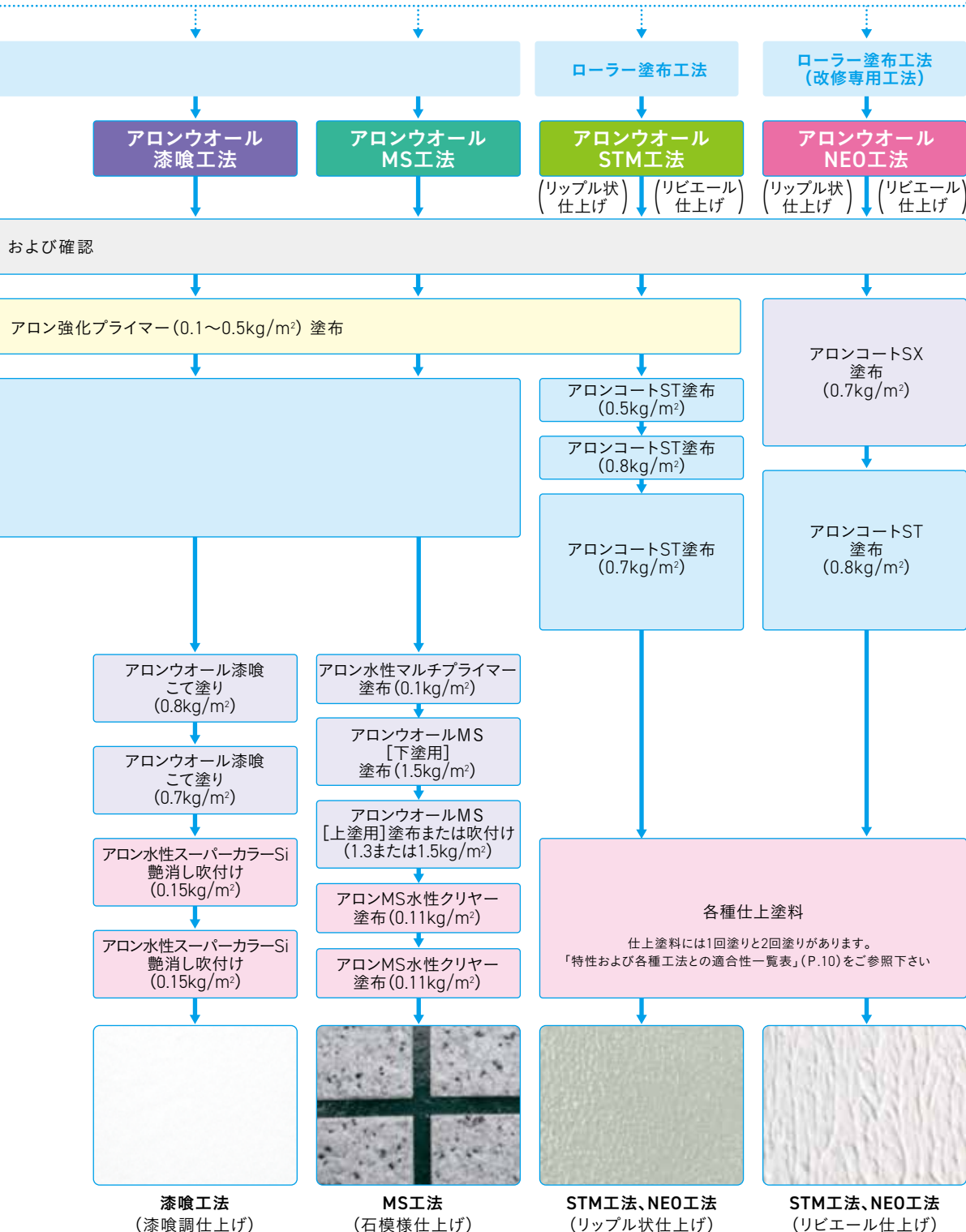
アロンウオール®標準工程フロー



◎標準色見本

※カラーについては、「標準色カラーカード(18色)」の中から選び下さい。標準色にない色をご指定の際は、日本塗料工業会の標準色見本帳の色番あるいは現物見本によりご相談下さい。
※一部の仕上塗料(トップコート)では、標準色に対応できないものもありますので、弊社営業までお問い合わせ下さい。
※この色見本は印刷のため現物とは違うことがあり、実際はカラーカードや見本板でご確認下さい。

- 5) モルタルの浮き部は、ピンニングや注入により処理して下さい。
- 6) 欠損部はアロンカチオクリートF-Kで断面修復して下さい。
- 7) 既存シーリング材の脆弱部や、アロンウオールの施工において性能上や納まり上、支障をきたす恐れがあると予想される場合は、シーリング材の打ち替えを行って下さい。
- 8) その他、詳細は弊社標準仕様書に従って下さい。



B-1

B-2

B-3

B-4

B-5

B-6

B-7

B-8

B-9

B-10

B-11

B-12

B-13

B-14

B-15

B-16

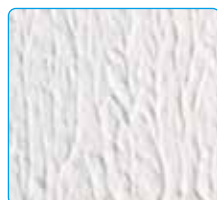
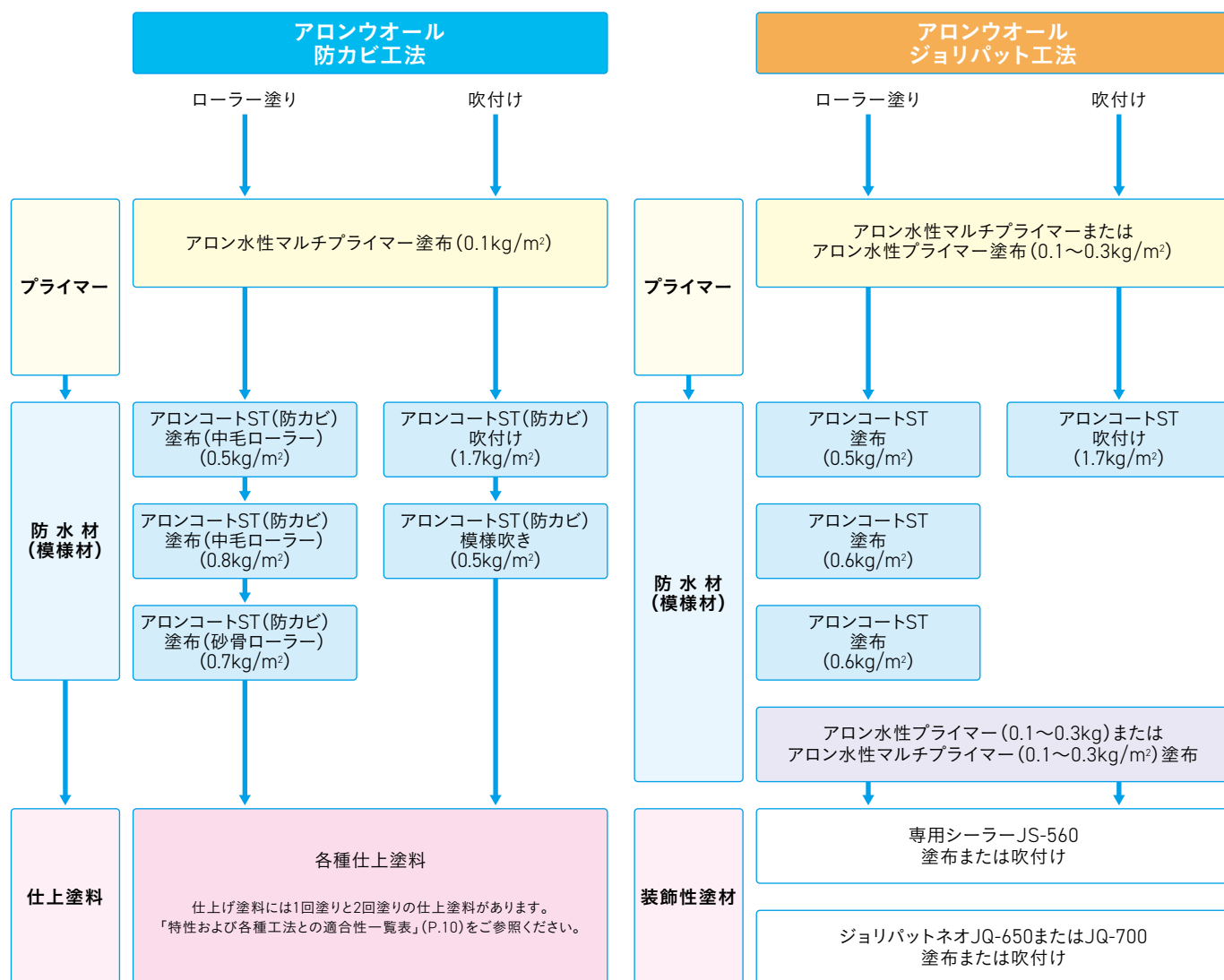
B-17

B-18

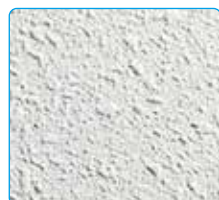
アロンウオール®標準工程フロー

下地処理 (別途工事)

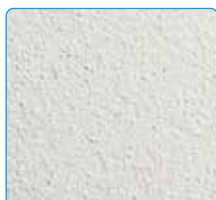
- 1) 高圧水洗(15mpa以下)にて、コンクリート打ち放し下地の脆弱層、付着している塵、ほこり、汚れなどを除去してください。
- 2) 既存アロンウオールの付着が弱く、その上からアロンウオールリフレッシュ工法が施工不能な場合は水洗いと平行して脆弱部の除去作業を行う。
- 3) 脆弱な既存塗膜・塗料下地は、サンダー掛け、皮スキ・ケレン棒などにより除去して下さい。
- 4) 躯体・下地のひび割れは、あらかじめ補修して下さい。



(リビエール仕上げ)



ST工法
(スター状仕上げ)



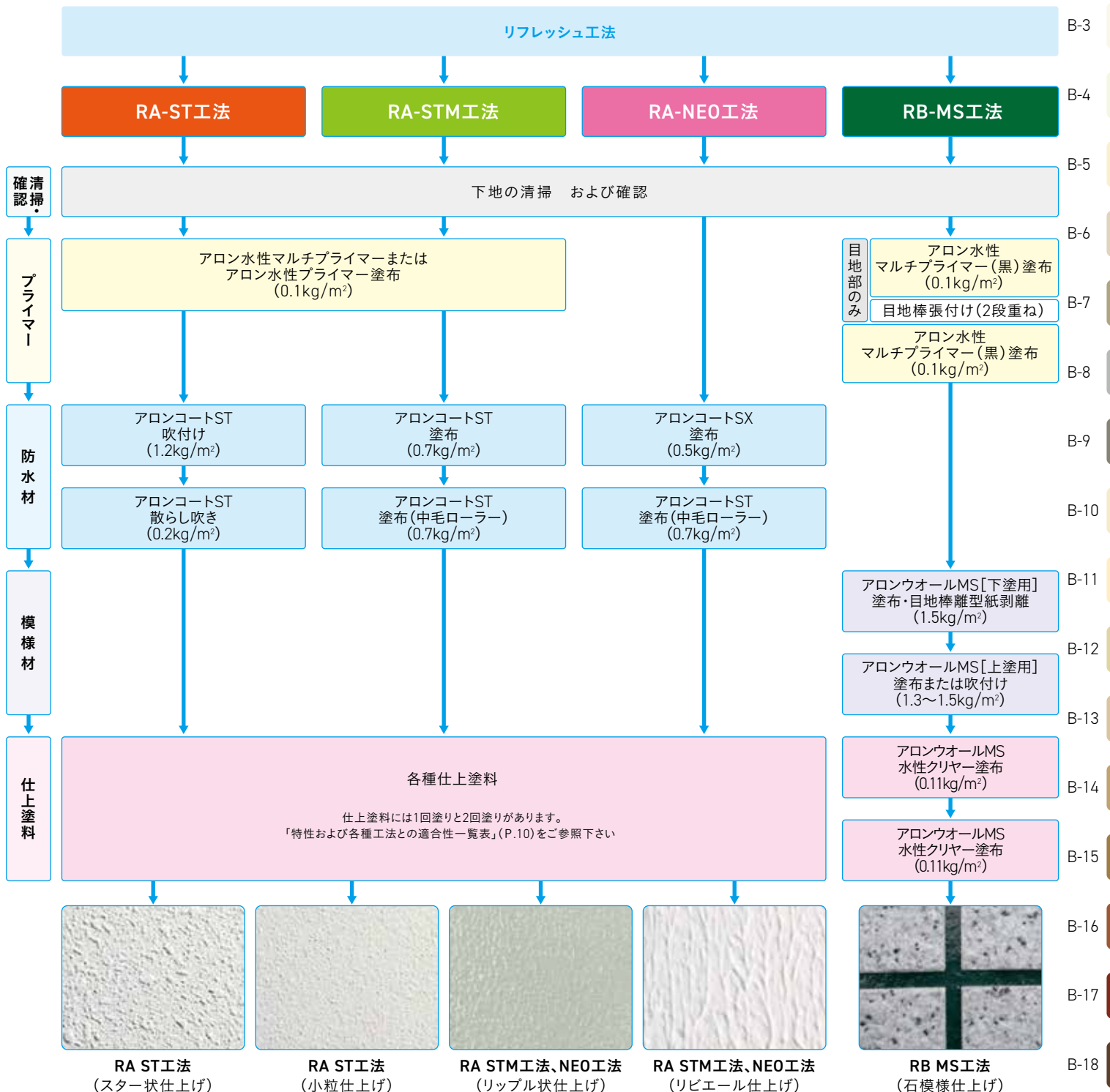
ST工法
(小粒仕上げ)

※装飾性塗材の施工はアイカ工業株式会社発行の
ジョリパットネオ施工の手引きに従ってください。

◎標準色見本

※カラーについては、「標準色カラーカード(18色)」の中から選び下さい。標準色にない色をご指定の際は、日本塗料工業会の標準色見本帳の色番あるいは現物見本によりご相談下さい。
※一部の仕上塗料(トップコート)では、標準色に対応できないものもありますので、弊社営業までお問い合わせ下さい。
※この色見本は印刷のため現物とは違うことがあり、実際はカラーカードや見本板でご確認下さい。

- 5) モルタルの浮き部は、ピンニングや注入により処理して下さい。
- 6) 欠損部はアロンカチオクリートF-Kで断面修復して下さい。
- 7) 既存シーリング材の脆弱部や、アロンウオールの施工において性能上や納まり上、支障をきたす恐れがあると予想される場合は、シーリング材の打ち替えを行って下さい。
- 8) その他、詳細は弊社標準仕様書に従って下さい。



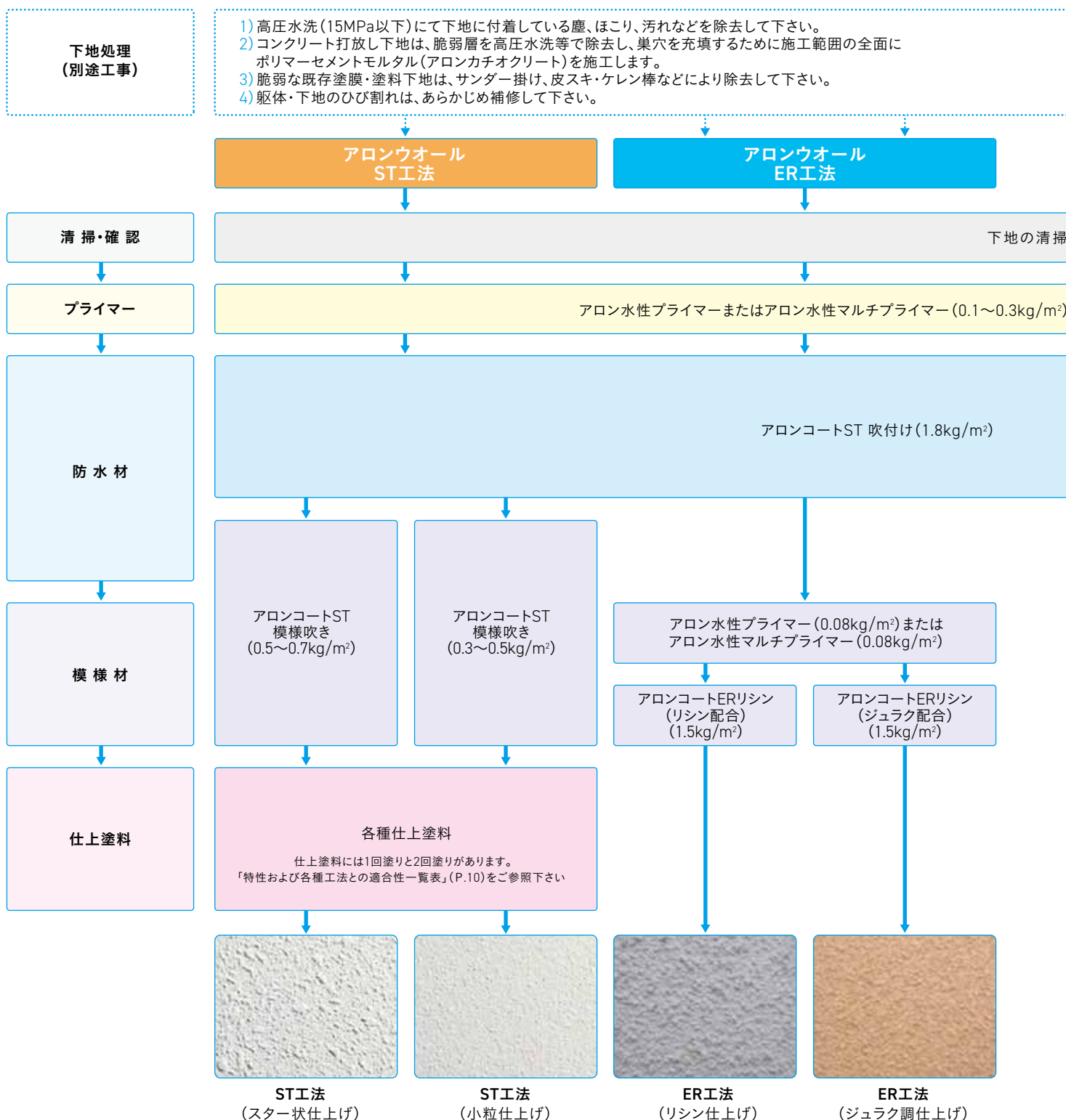
◎国土交通省公共建築改修工事標準仕様書に準拠する場合、仕様書で規定されている防水材の膜厚補正工法名は標準工法の名称を用いますが、区別して表記する必要がある場合は、工法名の後に（K）を記載

標準仕様書の表記	工法	吹付け	
	仕上の形状*1	凹凸状	
	仕上の種類*3	砂壁状	じゅらく状

*1 吹付工法の凸部処理仕上はアロンウォールにはありません。

*2 一般的に砂骨材ローラー仕上を「ゆず肌状」、「さざ波状」と称しますが、アロンウォールは砂骨材ローラー仕上を「リップル状」、中毛ローラー仕上を「リビエール」と称しています。

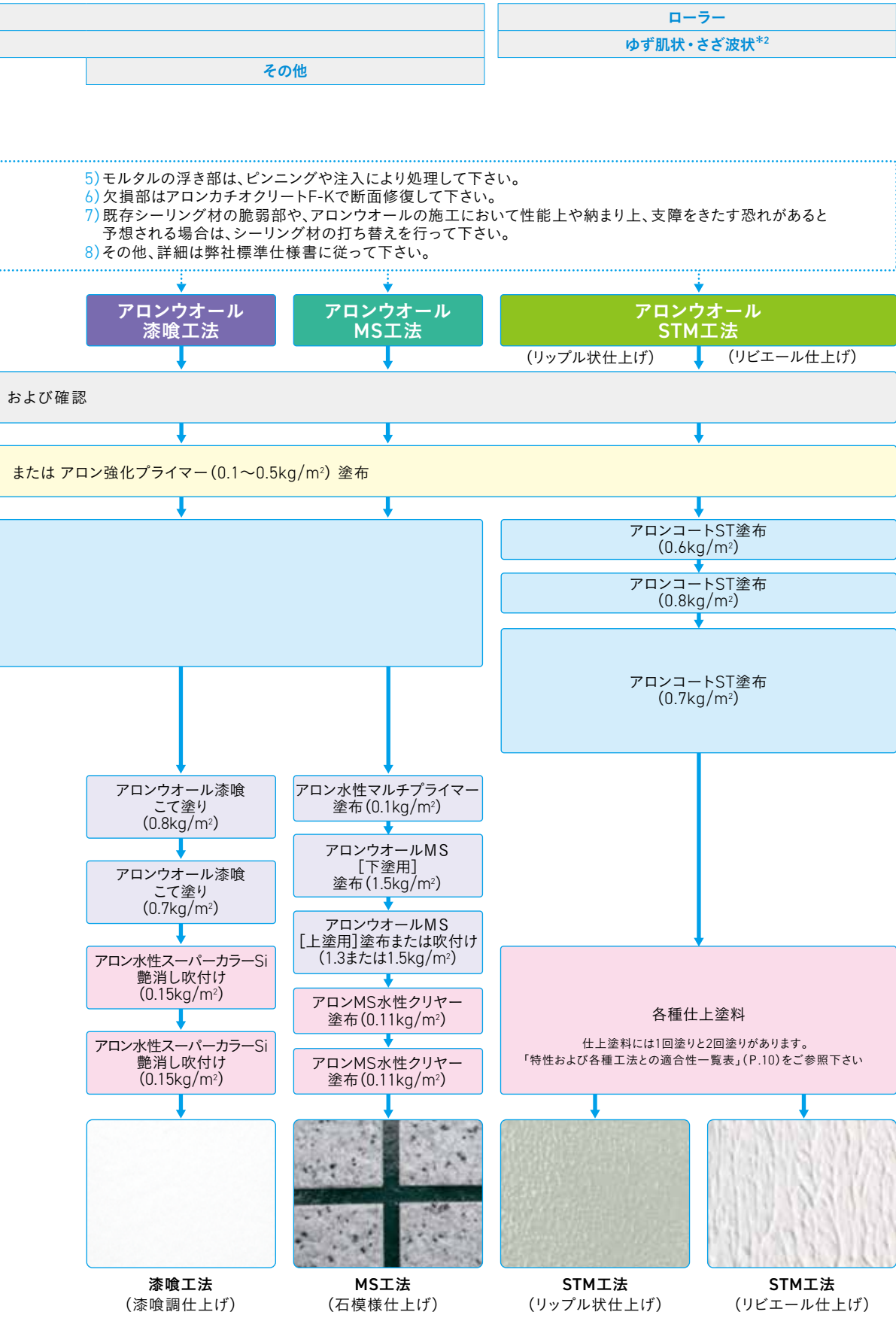
*3 改修標準仕様書（令和4年版）表 4.7.1の（注）7に記載される仕上の種類



標準仕様書対応工法

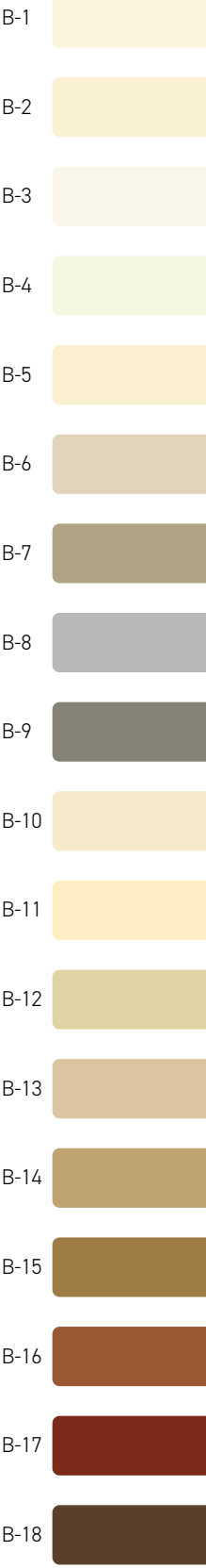
アロンウオール®

を行うため、アロンコート ST の使用量を 0.1kg/m^2 増やします。
します。例：アロンウオール ST (K) 工法



標準色見本

※カラーについては、「標準色カラーカード(18色)」の中から選び下さい。標準色にない色をご指定の際は、日本塗料工業会の標準色見本帳の色番あるいは現物見本によりご相談下さい。
※一部の仕上塗料(トップコート)では、標準色に対応できないものもありますので、弊社営業までお問い合わせ下さい。
※この色見本は印刷のため現物とは違うことがあり、実際はカラーカードや見本板でご確認下さい。



標準仕様一覧表



工程	使用材料	塗装方法	標準使用量 (kg/m ²)	塗布回数
下地処理	別途			
下地の確認 および清掃				
プライマー	アロン水性プライマー又は アロン水性マルチプライマー	ローラー塗布	0.1～0.3	1～2回
防水材	アロンコートST	吹付け	1.7 [*]	1～2回 ^{*2}
模様材	アロンコートST	模様吹き (吹付け)	0.5	1回
仕上塗料	各種仕上塗料 ^{*1} (1回塗りと2回塗りがあります。)	吹付けまたは ローラー塗布	*1	*1

工程見本:ST工法 (スター状仕上げ) ※公共建築改修工事標準仕様書に準拠する場合は1.8kg/m²となります。

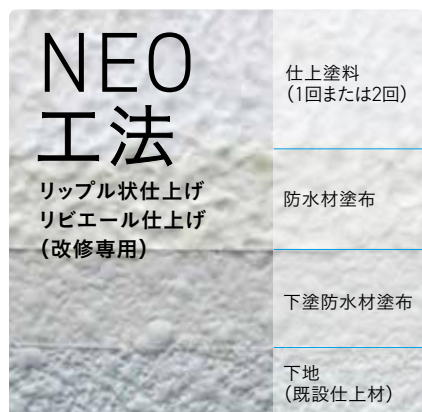
【ST工法での注意事項】*1:「特性および各種工法との適合性一覧表」(P.10)をご参照下さい。*2:新築の場合、2回に分けて吹付けると平滑に仕上がります。◎プライマーの可使時間、乾燥時間、成膜時間などについては、別途標準仕様書をご参照下さい。◎アロンコートSTの模様吹き (吹付け) において、模様に応じて使用量が異なります (0.3～0.7kg/m²)。◎アロンコートSTの模様吹き (吹付け) において、乾燥条件が良い場合は吹きつぎができるので、アロンコートST 0.2kg/m²を全体に吹付け吹きつぎを消します。



工程	使用材料	塗装方法	標準使用量 (kg/m ²)	塗布回数
下地処理	別途			
下地の確認 および清掃				
プライマー	アロン水性プライマー又は アロン水性マルチプライマー	ローラー塗布	0.1～0.3	1～2回
防水材	アロンコートST	ローラー塗布	0.5 [*]	1回
	アロンコートST	ローラー塗布	0.8	1回
	アロンコートST	模様塗り (ローラー塗布)	0.7	1回
仕上塗料	各種仕上塗料 ^{*1} (1回塗りと2回塗りがあります。)	ローラー塗布	*1	*1

工程見本:STM工法 (リップル状仕上げ) ※公共建築改修工事標準仕様書に準拠する場合は0.6kg/m²となります。

【STM工法での注意事項】*1:「特性および各種工法との適合性一覧表」(P.10)をご参照下さい。◎プライマーの可使時間、乾燥時間、成膜時間などについては、別途標準仕様書をご参照下さい。◎アロンコートSTは、アロンウォールSTM工法用添加剤を適量添加 (別途標準仕様書をご参照下さい) した後、ウールローラー (中毛) [リビエール仕上げ] あるいは砂骨材ローラー [リップル状仕上げ] を用いて塗布します。



工程	使用材料	塗装方法	標準使用量 (kg/m ²)	塗布回数
下地処理	別途			
下地の確認 および清掃				
下塗防水材	アロンコートSX	ローラー塗布	0.7	1回
防水材	アロンコートST	ローラー塗布	0.8	1回
仕上材	各種仕上塗料 ^{*1} (1回塗りと2回塗りがあります。)	ローラー塗布	*1	*1

工程見本:NEO工法 (リップル状仕上げ)

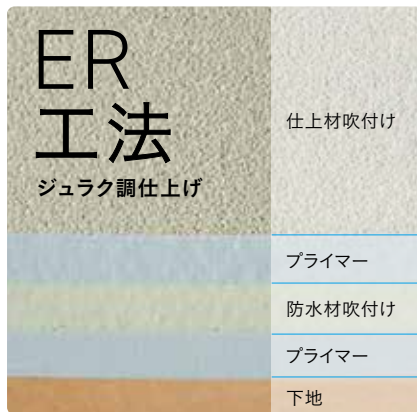
【NEO工法での注意事項】*1:「特性および各種工法との適合性一覧表」(P.10)をご参照下さい。◎サッシ回りや開口部などの金属下地、モルタル部、コンクリート露出部、断面修復部、シーリング材 (種類による)、セメント系材料への施工には、別途プライマーが必要です。◎アロンコートSTは、アロンウォールSTM工法用添加剤を適量添加 (別途標準仕様書をご参照下さい) した後、ウールローラー (中毛) [リビエール仕上げ] あるいは砂骨材ローラー [リップル状仕上げ] を用いて塗布します。◎出隅入隅などの膜厚が薄くなり易い部位、ALCパネルやPC部材の継手目地部 (シーリング材打設部) などの防水上重要な部位、ひび割れが発生し易い部位、下地の動きが激しい部位などにはアロンコートSXを、開口部 (サッシ) 回り、貫通部回り、手摺基部、スイッチボックスなどの設備との取り合いなどにはアロンコートSX、またはアロンコートSTを刷毛を用いて0.5～1.0kg/m²程度すり込み塗りまたは増塗りします。



工程	使用材料	塗装方法	標準使用量 (kg/m ²)	塗布回数
下地処理	別途			
下地の確認 および清掃				
プライマー	アロン水性プライマー又は アロン水性マルチプライマー	ローラー塗布	0.1~0.3	1~2回
防水材	アロンコートST	吹付け	1.7 [※]	1回
プライマー	アロン水性プライマー	ローラー塗布	0.08	1~2回
模様材	アロンコートERリシンベース	吹付け	1.5	1回
	寒水砂 (5厘目および3厘目、市販品)			

工程見本:ER工法(リシン調仕上げ) ※公共建築改修工事標準仕様書に準拠する場合は1.8kg/m²となります。

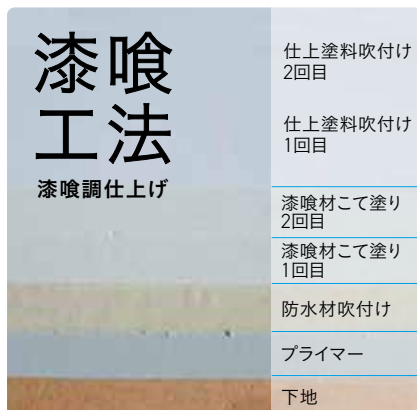
【ER工法(リシン調仕上げ)での注意事項】◎プライマーの可使時間、乾燥時間、成膜時間などについては、別途標準仕様書をご参照下さい。◎模様材の配合は、アロンコートERリシンベース20kg、5厘目の寒水砂12.5kg、3厘目の寒水砂12.5kgとなります。水希釈はしないか、極わずか(最大1ℓ)となります。◎骨材の種類によって色調が変化するため、施工現場で色調の確認をした上で施工して下さい。◎アロンコートERリシンベースは、標準色B-15~B-18、特注濃彩色の調色はできません。



工程	使用材料	塗装方法	標準使用量 (kg/m ²)	塗布回数
下地処理	別途			
下地の確認 および清掃				
プライマー	アロン水性プライマー又は アロン水性マルチプライマー	ローラー塗布	0.1~0.3	1~2回
防水材	アロンコートST	吹付け	1.7 [※]	1回
プライマー	アロン水性プライマー	ローラー塗布	0.08	1~2回
模様材	アロンコートERリシンベース	吹付け	1.5	1回
	6号けい砂(市販品)			

工程見本:ER工法(ジュラク調仕上げ) ※公共建築改修工事標準仕様書に準拠する場合は1.8kg/m²となります。

【ER工法(ジュラク調仕上げ)での注意事項】◎プライマーの可使時間、乾燥時間、成膜時間などについては、別途標準仕様書をご参照下さい。◎模様材の配合は、アロンコートERリシンベース20kg、6号けい砂40kgとなります。水希釈はしないか、極わずか(最大1ℓ)となります。◎骨材の種類によって色調が変化するため、施工現場で色調の確認をした上で施工して下さい。◎アロンコートERリシンベースは、標準色B-15~B-18、特注濃彩色の調色はできません。

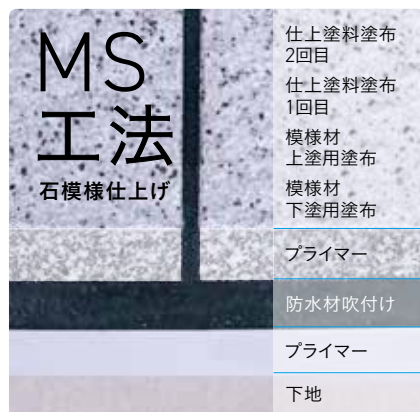


工程	使用材料	塗装方法	標準使用量 (kg/m ²)	塗布回数
下地処理	別途			
下地の確認 および清掃				
プライマー	アロン水性プライマー又は アロン水性マルチプライマー	ローラー塗布	0.1~0.3	1~2回
防水材	アロンコートST	吹付け	1.7 [※]	1回
模様材	アロンウオール漆喰ベース アロンウオール漆喰フィラー	こて塗り	0.8 (ベース0.27、フィラー0.53)	1回
	アロンウオール漆喰ベース アロンウオール漆喰フィラー	こて塗り	0.7 (ベース0.23、フィラー0.47)	1回
仕上塗料	アロン水性スーパーカラーS艶消し	吹付け	0.15	1回
	アロン水性スーパーカラーS艶消し	吹付け	0.15	1回

工程見本:漆喰工法(漆喰調仕上げ)

※公共建築改修工事標準仕様書に準拠する場合は1.8kg/m²となります。

【漆喰工法での注意事項】◎アロン水性プライマーの可使時間、乾燥時間、成膜時間などについては、別途標準仕様書をご参照下さい。◎仕上塗料は、白または黒のみとなります。



工程見本:MS工法(石模様仕上げ)

工程	使用材料	塗装方法	標準使用量 (kg/m ²)	塗布回数
下地処理	別途			
下地の確認および清掃				
プライマー	アロン水性マルチプライマー 又はアロン水性プライマー	ローラー塗布	0.1~0.3 ^{※2}	1~2回
防水材	アロンコートST黒	吹付け	1.7 ^{※1}	1~2回
目地割付け、墨出し、 目地棒張付け	目地棒【幅7又は25mm】目地長さは現場による(本/m ²)			
プライマー	アロン水性マルチプライマー	ローラー塗布	0.1	1回
模様材 下塗用(各色)	アロンウオールMS 【下塗用】	ローラー塗布 又は吹付け	1.5	1回
目地棒上部離型紙撤去	模様材表面が乾燥前に撤去する			
模様材 上塗用(各色)	アロンウオールMS 【上塗用】	ローラー塗布 又は吹付け	ローラー塗布:1.3 吹付け:1.5	1回
目地棒撤去、目地清掃	模様材表面が乾燥後に撤去する			
仕上塗料塗布	アロンウオールMS 水性クリアー	ローラー塗布	0.11	1回
仕上塗料塗布	アロンウオールMS 水性クリアー	ローラー塗布	0.11	1回

【MS工法の注意事項】※1: 公共建築改修工事仕様書に準拠する場合は1.8kg/m²となります。
 ※2: プライマーの使用量、乾燥・硬化時間などは下地の種類、状態および施工環境によって異なります。
 別途標準仕様書をご参照ください。

模様材【下塗用】・【上塗用】の標準色と色番号



W-1



W-2



W-3



W-4



W-5

◎各工法共通の注意事項

- 各使用材料の可使用時間、乾燥時間、成膜時間などについては、別途標準仕様書をご参照下さい。
- 各使用材料の実際の調合および施工は、使用者の責任において別途テクニカルインフォメーションなどに従い行って下さい。
- 各種工法の使用材料と使用量 (kg/m²) には、希釈水や各仕上塗料専用希釈液の量は含みません。
- 降雨、降雪が予想される時、気温5℃以下の場合、施工を中止して下さい。
- 高圧水洗にて旧塗膜に付着している塵、ほこり、汚れなどを除去して下さい。
- 旧塗膜に脆弱部がある場合、サンダーおよび皮スキ・ケレン棒などを用いて除去して下さい。
- プライマーの使用量、乾燥時間などは、下地の種類および状態・施工環境によって異なります。別途標準仕様書をご参照下さい。
- 改修において、下地の種類や状態によって、アロン強化プライマーを使用する場合があります。
- 各種仕上塗料 (MS工法、漆喰工法を除く) においては、必ず見本板などで指定色をご確認下さい。
- 模様の凹凸パターンは施工時だけでなく下地の凹凸の影響を受ける場合があります。

アロンACC工法

- アロン ACC 工法とは、アロンウオールの工事の際に用いる下地処理工法群の名称で、次の特長があります。
- ①下地調整や断面修復にカチオン性アクリルポリマーセメントモルタル「アロンカチオクリート」を用います。
 - ②ひび割れ処理に、ひび割れ挙動への追従性に優れた下地挙動緩衝材「アロンウオール SH」を塗布します。
 - ③下地の浮き部処理におけるピンニング本数を減じる提案をします。



不陸調整作業(アロンカチオクリート)

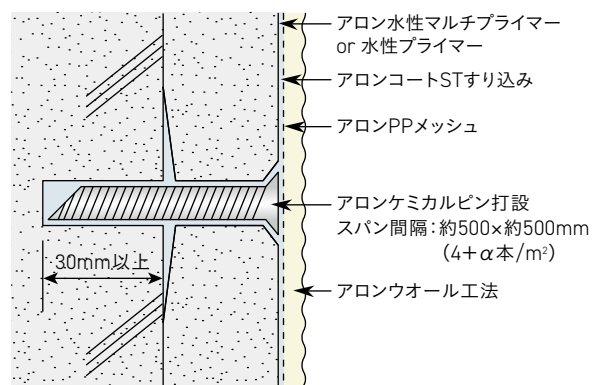


ひび割れ処理作業(アロンウオールSH)

剥落防止工法

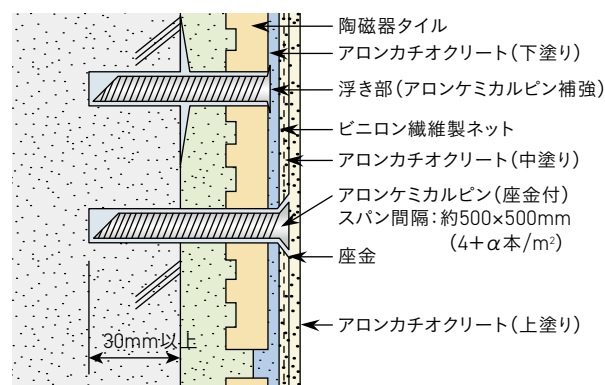
アロンウオール・ピン・ネット剥落防止工法

アロンケミカルピン打設、アクリルゴム塗膜防水材およびポリプロピレン繊維製ネットによる工法です。剥落防止と同時に、外壁の化粧や防水、更には、各種の躯体保護にも有効です。



アロンACCピン・ネット剥落防止工法

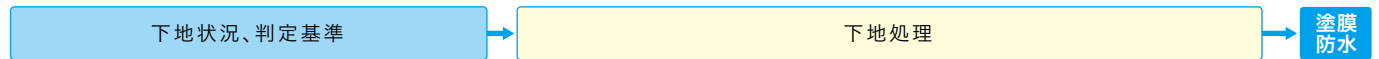
アロンカチオクリートおよび耐アルカリ性合成繊維(ビニロン)製ネット張りによる工法です。既存陶磁器質タイルや仕上げモルタル類の剥落防止に有効です。



RC構造物やPCa部材の外壁における既存の陶磁器質タイルや仕上げモルタル類の剥落防止や庇の補修、更には、外階段、張出部の上げ裏、一般壁、柱梁、天井などのモルタル類の剥落防止に適用されます。(ただし、躯体の破壊が懸念される場合やアロンケミカルピンの固定が困難な場合は適用できません。)

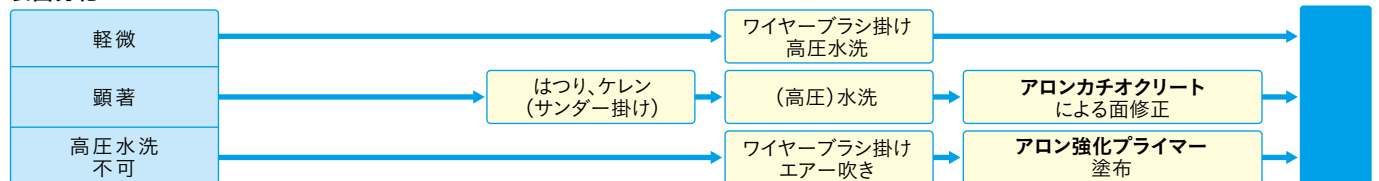
アロンACC工法標準工程

◎コンクリート・モルタル下地

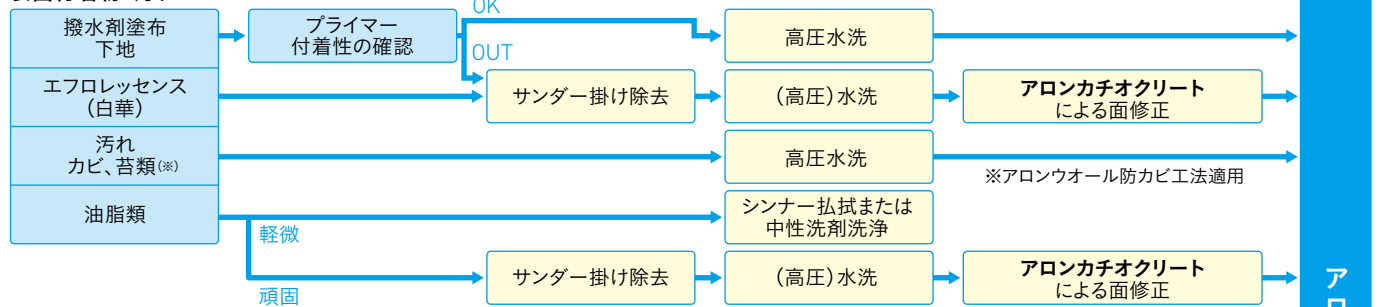


◎全面処理

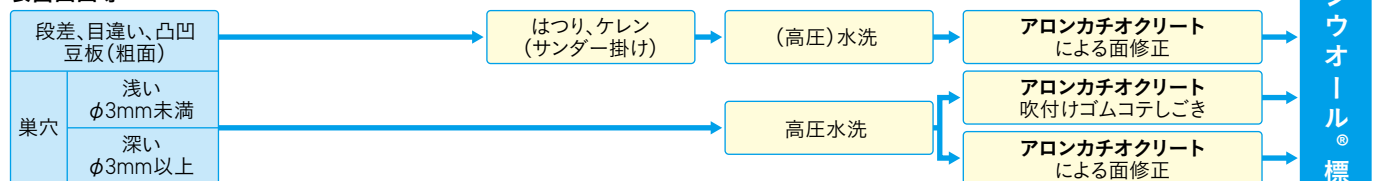
表面劣化



表面付着物・汚れ

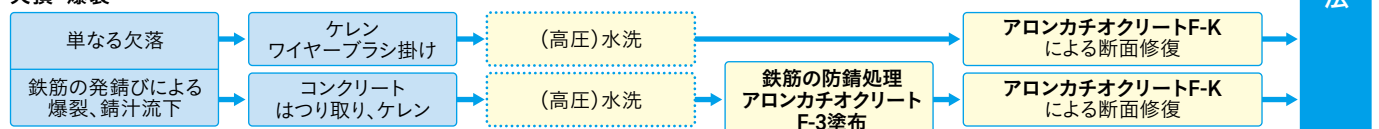


表面凸凹等

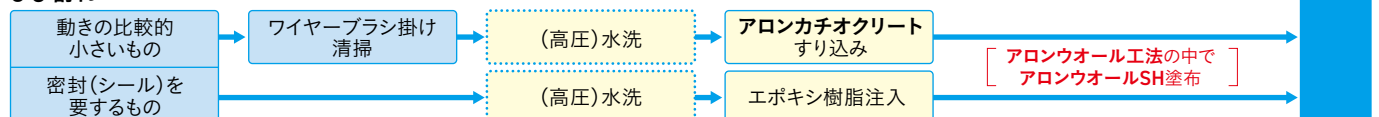


◎部分的処理

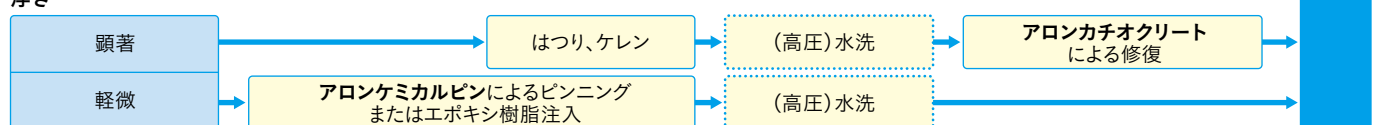
欠損・爆裂



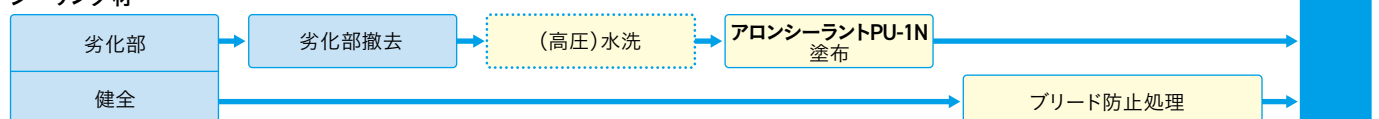
ひび割れ

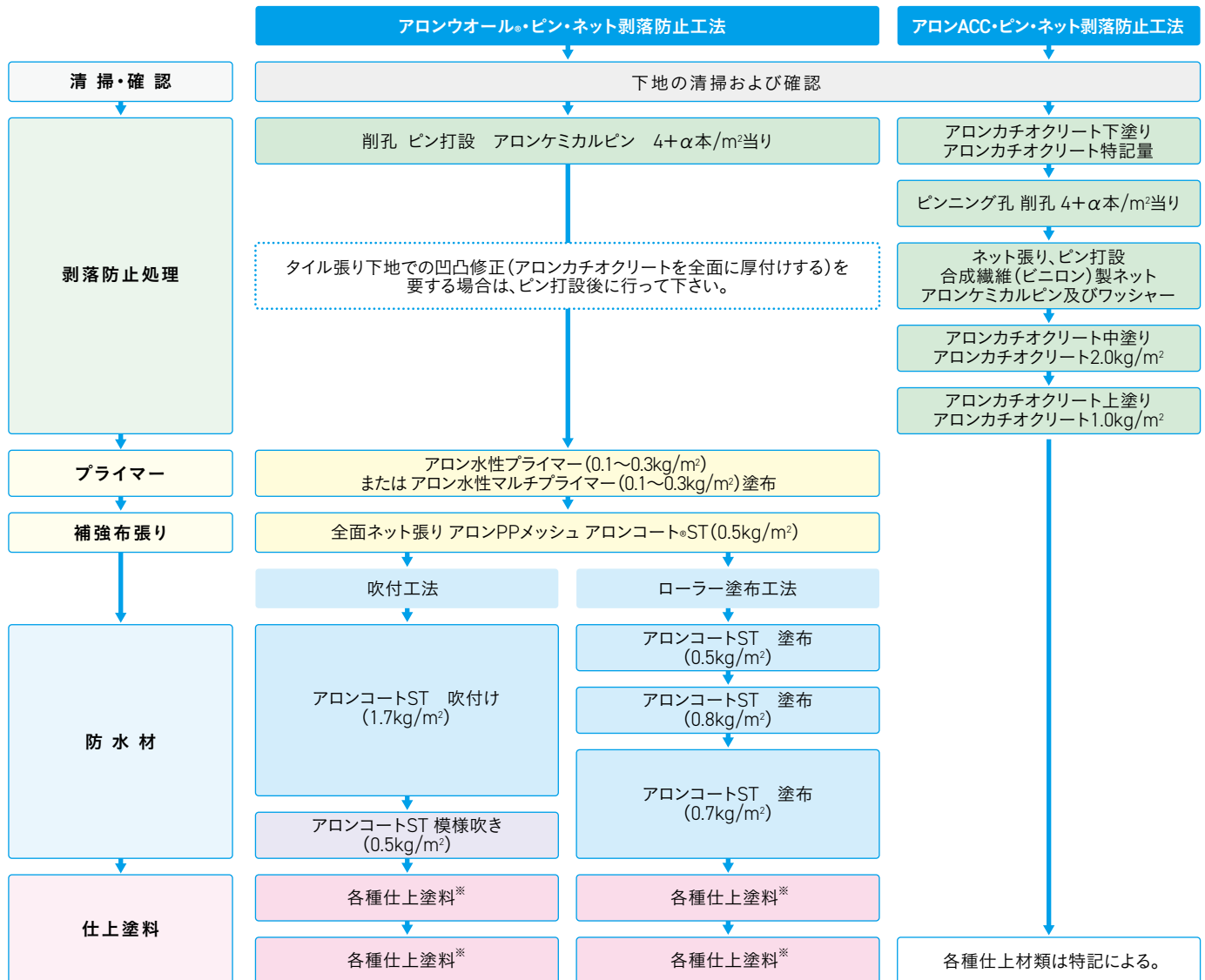


浮き



シーリング材





※「特性および各種工法との適合性一覧表」(P.10)をご参照下さい。

下地処理 (別途工事)

【コンクリート打放し、モルタル塗り、既存塗膜・塗料の下地】

- 1) 高圧水洗(15MPa以下)にて下地に付着している塵、ほこり、汚れなどを除去して下さい。
- 2) コンクリート打放し下地は、脆弱層を高圧水洗等で除去して下さい。巣穴を充填するために施工範囲の全面にポリマーセメントモルタルを施工します(アロンウオール®・ピン・ネット剥落防止工法)。
- 3) 既存塗膜・塗料下地は、脆弱部をサンダー掛けおよび皮スキ・ケレン棒などにより除去して下さい。
- 4) 軀体・下地の大きなひび割れは、あらかじめ補修して下さい。
- 5) 欠損部は、アロンカチオクリートF-Kで断面修復して下さい。
- 6) 既存シーリング材の脆弱部や、施工において性能上や納まり上支障をきたす恐れがあると予想される場合は、シーリング材の打替えを行って下さい。
- 7) その他、詳細は弊社標準仕様書に従って下さい。

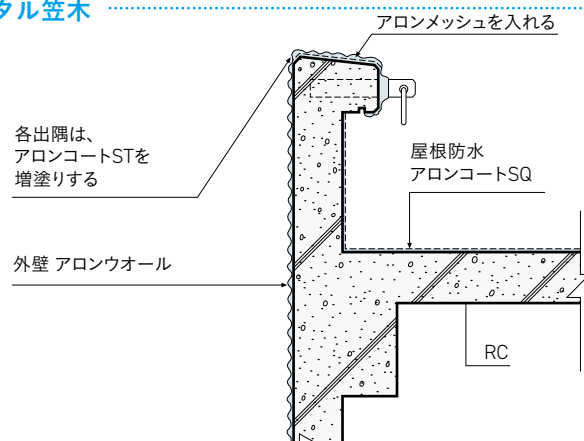
【タイル張り下地】

- 1) 高圧水洗(15MPa以下)にて下地に付着している塵、ほこり、汚れなどを除去して下さい。
- 2) 軀体・下地の大きなひび割れは、あらかじめ補修して下さい。
- 3) 欠損部は、アロンカチオクリートF-Kで断面修復して下さい。
- 4) タイル目地は、あらかじめポリマーセメントモルタルで目地詰めて下さい(アロンウオール®・ピン・ネット剥落防止工法)。
- 5) 既存シーリング材の脆弱部や、施工において性能上や納まり上支障をきたす恐れがあると予想される場合は、シーリング材の打ち替えを行って下さい。
- 6) その他、詳細は弊社標準仕様書に従って下さい。

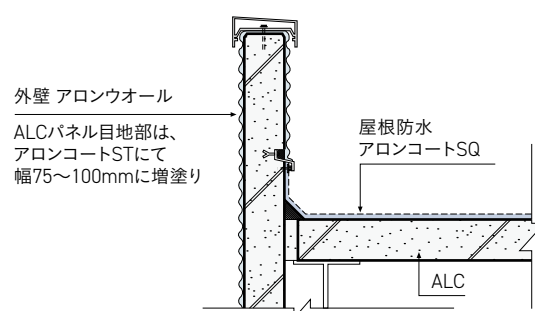
アロンウオール施工標準例

◎パラペット回り設計例

モルタル笠木

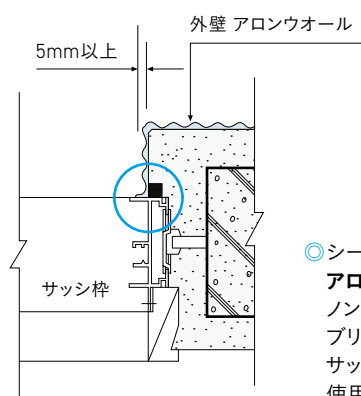
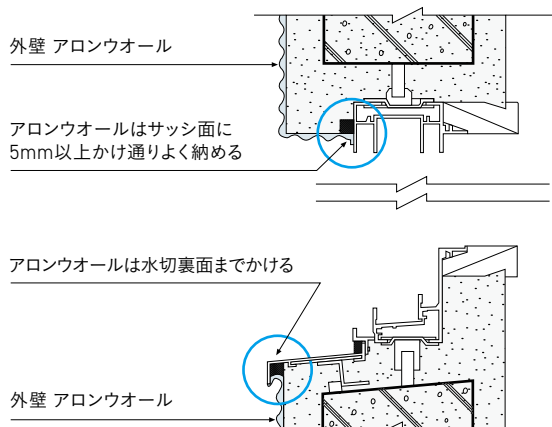


金属笠木



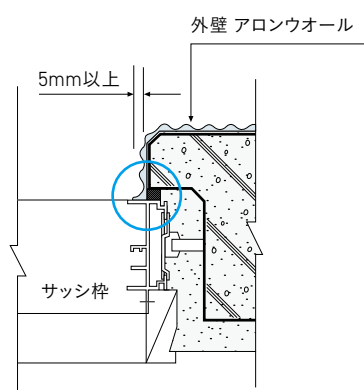
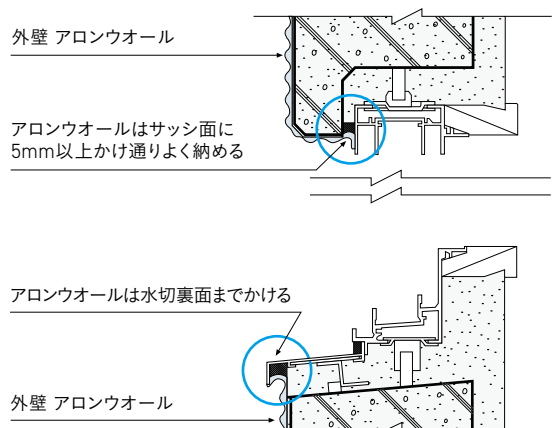
◎サッシ回り設計例

鉄筋コンクリート納まり



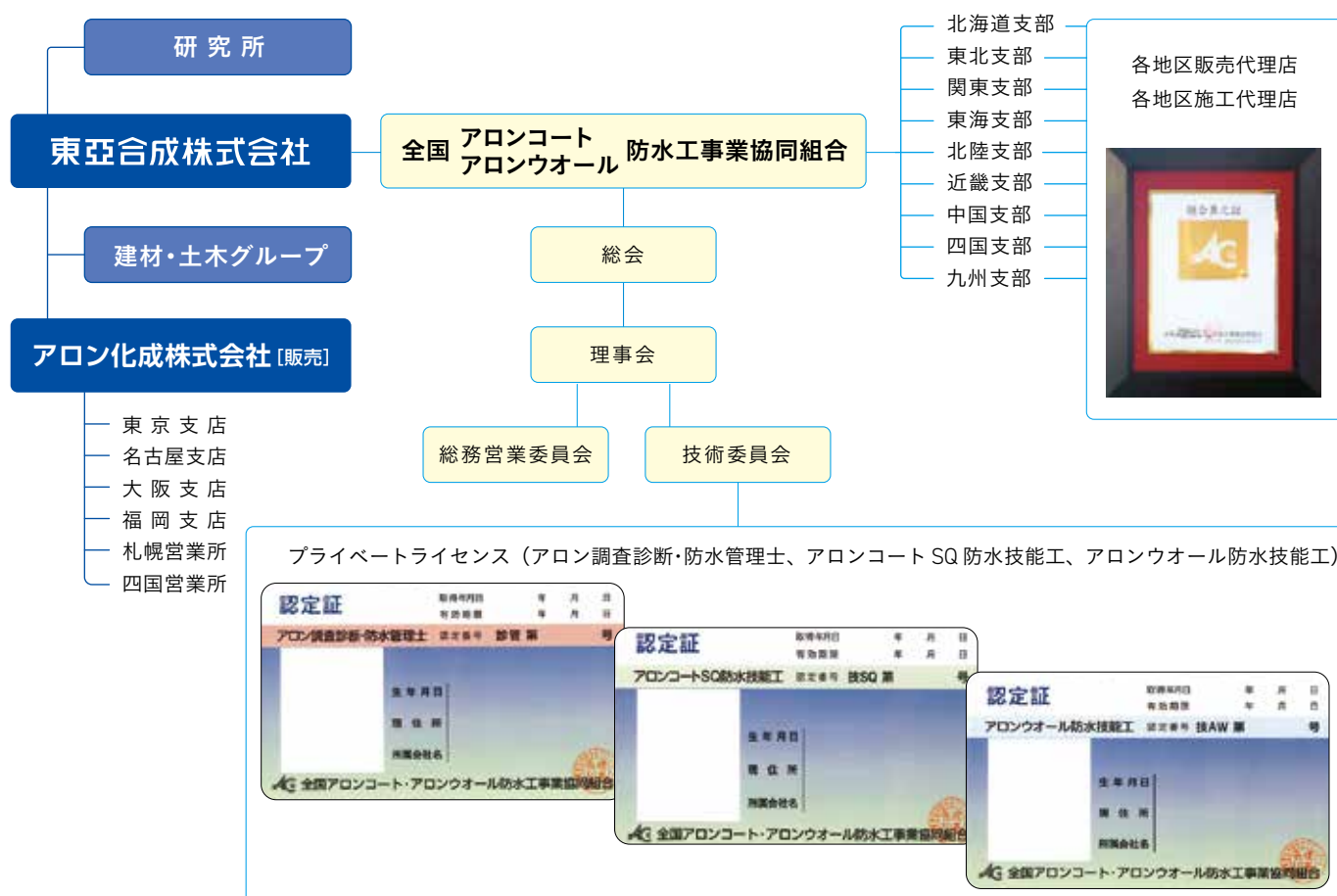
◎シーリング材は、ノンブリードタイプの
アロンシーラントPU-1Nを使用する。
ノンブリード型でない場合は、
ブリード防止処理を行う。
サッシ面には、アロン強化プライマーも
使用可能。

鉄筋コンクリート納まり(外部コンクリート打放し)



責任施工システム

アロンコート・アロンウオールの受注・施工は、全国9支部224施工代理店(令和6年11月)により組織された「全国アロンコート・アロンウオール防水工事業協同組合」がその任に当たります。アロンウオールの素材を十二分に研修理解し、施工技術をマスターした技術者のみがライセンスを取得し、すべての施工はこの技術者を擁する施工代理店が行う「責任施工システム」となっています。



品質管理

一貫生産で安定した品質をお約束いたします。
原料のアクリル酸エステルから最終製品に至るまで、
当社で責任をもって製造しています。

防水保証書を発行しています。

メーカーおよび施工代理店連名で、新築・改修に関わらず、防水保証を実施しています。



テクニカルデータ

◎アロンウオール®の防水材塗膜の物性 [JIS A 6021-2022 (建築用塗膜防水材 外壁用)]

項目			規格値	アロンコートST測定値
引 張 性 能	引張強さ (N/mm ²)	試験時温度 23℃	1.3以上	1.8
		試験時温度 -20℃	1.3以上	5.7
		試験時温度 60℃	0.4以上	1.3
	破断時の伸び率 (%)	試験時温度 23℃	300以上	400
	破断時のつかみ間の 伸び率 (%)	試験時温度 23℃	180以上	240
		試験時温度 -20℃	70以上	110
		試験時温度 60℃	150以上	190
引 裂 性 能	引裂強さ (N/mm)		6.0以上	11.7
加熱伸縮性能	伸縮率 (%)		-1.0以上1.0以下	-0.4
劣化処理後の引張性能	引張強さ比 (%)	加熱処理	80以上	118
		促進暴露処理	80以上	95
		アルカリ処理	60以上	118
	破断時の伸び率 (%)	加熱処理	200以上	334
		促進暴露処理	200以上	270
		アルカリ処理	200以上	290
伸び時の劣化状況		加熱処理	いずれの試験片にもひび割れ及び著しい変形があってはならない	異常なし
		促進暴露処理		異常なし
		オゾン処理		異常なし
付 着 性 能	付着強さ (N/mm ²)	無処理	0.7以上	1.12
		温冷繰り返し処理後	0.5以上	0.76
耐疲労性能			いずれの試験体にも塗膜の穴あき・裂け・破断があってはならない	異常なし
たれ抵抗性能		たれの長さ (mm)	いずれの試験体も3.0以下	0
		しわの発生	いずれの試験体にもあってはならない	認めない
固 形 分 (%)			表示値±3.0	72.0

◎アロンウオール®塗膜の物性 [JIS A 6909-2014「建築用仕上塗材」防水形複層塗材準拠]

項目		規格値	測定値
低温安定性		塊がなく、組成物の分離・凝集がないこと。	異常なし
初期乾燥によるひび割れ抵抗性		ひび割れが生じないこと。	異常なし
付着強さ (N/mm ²)	標準状態	0.7以上	1.1
	浸水後	0.5以上	0.9
温冷繰り返し作用に対する抵抗性		試験体の表面に、はがれ、ひび割れ、膨れがなく、かつ、著しい変色および光沢低下がないこと。	異常なし
透水性 (mℓ)		0.5以下	0.1以下
耐 衝 撃 性		ひび割れ、著しい変形およびはがれを生じないこと。	異常なし
耐 候 性		ひび割れ、はがれがなく、変色がグレースケール3号以上であること。	異常なし 変色：グレースケール5号
伸び (%)	20℃時	120以上	390
	-10℃時	20以上	150
	浸水後	100以上	300
	加熱後	100以上	334
伸び時の劣化		剥離、反り・ねじれがなく、主材に破断およびひび割れがないこと。	異常なし

◎アロンウオール主材(アロンコートST)の性状

外観 固形分 粘度	粘稠なスラリー状 72% (樹脂分57%) 約40,000mPa・s (at.20°C)
-----------------	--

◎アロンコートST塗膜のひび割れ追従性(実験値)

アロンコートST 塗膜のひび割れ追従性	0≒3mm (ひび割れ幅) くり返し5,000回以上OK (6回/1分間)	塗膜厚1mm 促進耐候性試験 1,000時間後
------------------------	---	-------------------------------

◎アロンコートST塗膜の低温柔軟性

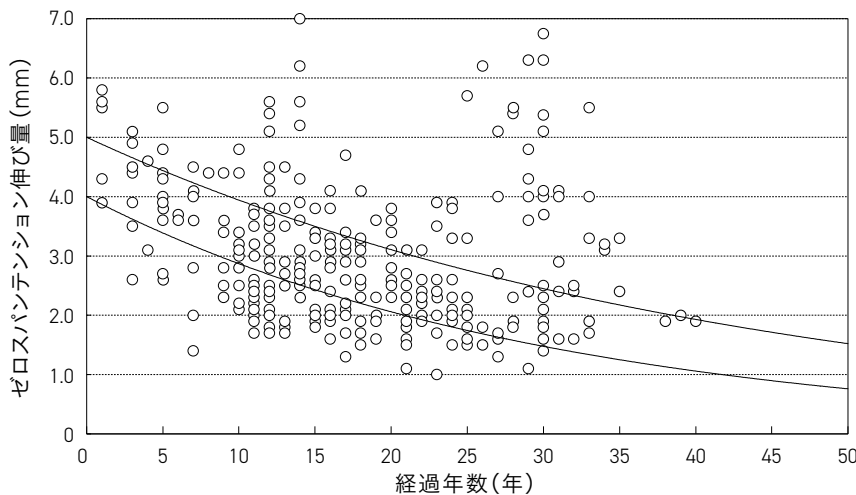
-40°Cの雰囲気でも柔軟性を維持していることが証明されています。

	処理方法	温度	結果	測定方法
耐寒屈曲性	無処理	-20°C -40°C	アロンコートST塗膜の柔軟性異常なし	72時間放置後 80°折り曲げ

◎アロンウオール施工物件の経年調査(実測データ)

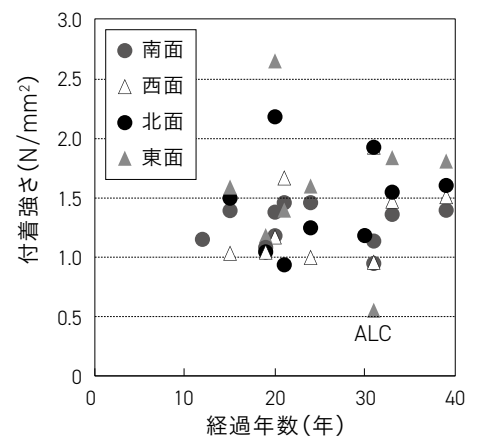
▶ひび割れ追従性(ゼロスパンテンションの伸び量)

40年経過後も想定範囲の物性低下にとどまっております十分な柔軟性を保持しています。



▶付着強さ

39年経過後も付着強さの低下はみられません。オーバーレイ(かぶせ)による改修が可能です。



◎外的要因に対する遮断機能(拡散抵抗性)

▶水、空気、塩分、水蒸気に対する気密性(コンクリートとの比較)

	透水性	気密性	遮断性(拡散係数)	透過性(水蒸気透過性)
試験法	水 	空気 	3%NaCl水溶液 	水蒸気
単位	ml	cm³/m・hr・Pa	cm²/sec	g/m²・日
アロンウオール®	a	3.7×10⁻²	1.4×10⁻¹¹	12.5
	b	5.7×10⁻²	5.3×10⁻¹¹	—
コンクリート	72	190	6.0×10⁻⁸	50.4 (モルタル10mm厚)
コンクリート相当厚み	720mm	3,300-5,000mm	1,100-4,300mm	40mm
備考	—	—	—	※透湿抵抗は小さく、透湿性は良好。

アロンウオール®塗膜 a: 初期状態 b: 100%伸張状態 (注) 相当厚み=アロンウオール塗膜1mmに対するコンクリート厚み

施工事例

アロンウオール®は、昭和45年6月以来50余年にわたり、全国に数多くの実績を誇っています。



▲ JAアルプス立山CEサイロ(富山県) ▶



◀ ラルゴ芦花公園(東京都)



▲ 畑田小学校南棟校舎(大阪府) ▼



【BEFORE】



【AFTER】



◀ 七日町パーキング(山形県)

施工事例



▲ ブリヂストンタイヤ沖縄販売 社屋(沖縄県) ▼

大同火災久米ビル(沖縄県) ▼

【BEFORE】



【AFTER】





◀ 紀宝町ウミガメ公園一次避難場所 兼 備蓄倉庫(三重県) ▶

小松印刷グループ(香川県) ▼



施工事例



▲ 野庭団地第13住宅(神奈川県)

【BEFORE】



【AFTER】



◀ 某大学屋上ペイントハウス(愛知県) ▼

【BEFORE】



【AFTER】





▲ 三津整形外科・合歓の木(愛媛県) ▶



◀ 立本整形外科医院(岩手県)

アロンウオール®工法使用材料

⑤溶剤含有材料 ⑥弱溶剤含有材料

分類	材料名称	使用目的	外観性状	固形分	粘度	荷姿
プライマー	アロン水性プライマー	防水層と下地の接着性向上	2液反応硬化形エポキシ樹脂エマルジョン	主 剤：約63% 硬化剤：約47%	主 剤：約6,100mPa・s 硬化剤：約2,900mPa・s	主剤+硬化剤 6Kg/缶+6Kg/缶=12Kg/セット
	アロン水性マルチプライマー	防水層と下地の接着性向上	特殊変性エポキシ樹脂エマルジョン	約57%	約5,000mPa・s	16Kg/缶
	⑤アロン強化プライマー	脆弱下地に塗布、含浸させ下地強化と各種上塗材との接着性向上	特殊変性、2液反応硬化形エポキシ樹脂溶剤溶液 主剤：消、危第4類第2石油類 硬化剤：消、危第4類第1石油類	主 剤：約48% 硬化剤：約9%	主 剤：約45mPa・s 硬化剤：約3mPa・s	主剤+硬化剤 8.2Kg/缶+6.8Kg/缶=15Kg/セット
	⑥アロンMD防錆プライマー	鋼板の防せいおよび各種上塗材との接着性向上	主：赤錆色防錆顔料分散樹脂溶液 消、危第4類第2石油類 硬：黄褐色透明液体 消、危第4類第2石油類	主 剤：約71% 硬化剤：約25%	主 剤：約15,750mPa・s 硬化剤：約13mPa・s	主剤+硬化剤 14Kg/缶+2Kg/缶=16Kg/セット
	⑥アロンMD防錆プライマー用シンナー	アロンMD防錆プライマーの希釈	無色透明液体	—	—	16L/缶、4L/缶
防水材	アロンコートST	外壁の防水材および模様付け	アクリルゴムエマルジョン粘稠なスラリー状材料	約72%	約40,000mPa・s	18Kg/缶
下塗防水材	アロンコートSX	NEO工法専用防水材	アクリルゴムエマルジョン粘稠なスラリー状材料	約72%	約30,000mPa・s	18Kg/缶
下地調整材	アロンコートSB 粘度調整剤	増塗材「アロンコートSB」調合剤	乳白色液体	約21%	約3,500mPa・s	1L/箱
下地挙動緩衝材	アロンウオールSH	ひび割れ部に塗布しその緩衝作用により防水材の下地挙動に対する追従性向上	アクリルゴムエマルジョン粘稠なスラリー状材料	約72%	約45,000mPa・s	18Kg/缶、6Kg/缶
防カビ材	防カビ用添加剤	防水材への防カビ性能付与	白色液体	約15%	約10mPa・s	100g×6本/1箱
模様材	アロンコートERリシン (リシン仕上用)	アロンコート、ERリシンベース	アクリル樹脂エマルジョン粘稠なスラリー状	約60%	約9,500mPa・s	20Kg/缶
		寒水砂(5厘目および3厘目、市販品)	—	—	—	—
	アロンコートERリシン (ジュラク仕上用)	アロンコート、ERリシンベース	アクリル樹脂エマルジョン粘稠なスラリー状	約60%	約9,500mPa・s	20Kg/缶
		6号けい砂(市販品)	—	—	—	—
	⑤アロンウオールMS [下塗用]	石調模様付け	骨材入水系 アクリルシリコン樹脂ペースト	—	—	20Kg/缶
	⑤アロンウオールMS [上塗用]	石調模様付け	骨材入水系 アクリルシリコン樹脂ペースト	—	—	20Kg/缶
仕上塗料	⑥アロンウオール漆喰ベース	漆喰調模様付け	アクリル樹脂系漆喰用模様材	約58%	10,000~18,000mPa・s	20Kg/缶
	⑥アロンウオール漆喰フィラー	漆喰調模様付け	アクリル樹脂系漆喰用模様材	—	—	20kg/袋
	アロン水性スーパーカラー-Si	防水層の化粧、表面保護および汚染防止	低汚染・水性 アクリルシリコン樹脂エマルジョン塗料	約54%	約5,000mPa・s	15Kg/缶、4Kg/缶
	アロン水性(DX)スーパーカラー	防水層の化粧、表面保護および汚染防止	水系アクリルウレタン樹脂エマルジョン塗料	約50%	約5,000mPa・s	16Kg/缶、4Kg/缶
	アロン水性カラー	防水層の化粧、表面保護および汚染防止	水系アクリル樹脂エマルジョン塗料	約50%	約5,000mPa・s	16Kg/缶、4kg/缶
	アロンHSカラーSi-1000	防水層の化粧、表面保護および汚染防止	低汚染アクリルシリコン樹脂エマルジョン塗料	約59%	約5,000mPa・s	15Kg/缶
	⑥アロンHSカラーSi-3000	防水層の化粧、表面保護および汚染防止	低汚染・2液反応硬化形弱溶剤系アクリルシリコン樹脂塗料 主剤：消、危第4類第2石油類 硬化剤：消、危第4類第2石油類	主 剤：約70% 硬化剤：約80%	主 剤：6,500mPa・s 硬化剤：約100mPa・s	主剤+硬化剤 14Kg/缶+2Kg/缶=16Kg/セット
	⑥アロンHSカラーSi-3000用シンナー	アロンHSカラーSi-3000の希釈	無色透明な芳香族系有機溶剤溶液 消、危第4類第2石油類	—	—	13Kg/缶
	⑥アロンMDカラーU	防水層の化粧、表面保護および汚染防止	低汚染・2液反応硬化形弱溶剤系アクリルウレタン樹脂塗料 主剤：消、危第4類第2石油類 硬化剤：消、危第4類第2石油類	主 剤：約60.5% 硬化剤：約50%	主 剤：3,800mPa・s 硬化剤：約10mPa・s	主剤+硬化剤 12Kg/缶+2Kg/缶=14Kg/セット 3Kg/缶+0.5Kg/缶=3.5Kg/セット
	⑥アロンMDカラーU用シンナー	アロンMDカラーUの希釈	無色透明な芳香族系有機溶剤溶液 消、危第4類第2石油類	—	—	12.8Kg/缶 3.2Kg/缶
	⑥アロンMDカラーSi	防水層の化粧、表面保護および汚染防止	低汚染・2液反応硬化形弱溶剤系アクリルシリコン樹脂塗料 主剤：消、危第4類第2石油類 硬化剤：消、危第4類第2石油類	主 剤：約56% 硬化剤：約54%	主 剤：1,300mPa・s 硬化剤：約30mPa・s	主剤+硬化剤 12Kg/缶+3Kg/缶=15Kg/セット 4Kg/缶+1Kg/缶=5Kg/セット
	⑥アロンMDカラーSi用シンナー	アロンMDカラーSiの希釈	無色透明な芳香族系有機溶剤溶液 W：消、危第4類第1石油類 S：消、危第4類第2石油類	—	—	13Kg/缶 3Kg/缶
	アロン水性スーパーカラーF [下塗用]	防水層の化粧・表面保護および汚染防止	水性アクリルシリコン樹脂エマルジョン	53.5%	約5,000	15kg/4kg缶
	アロン水性スーパーカラーF [上塗用]	防水層の化粧・表面保護および汚染防止	フッ素樹脂エマルジョン	53.8%	約9,000	15kg/4kg缶

分類	材料名称	使用目的	外観性状	固形分	粘度	荷姿
仕上塗料	S アロンウオール FC (DX) Aカラー	防水層の化粧、表面保護 および汚染防止	2液反応硬化形アクリル ウレタン樹脂塗料 主剤：消、危第4類第1石油類 硬化剤：消、危第4類第1石油類	主 剤：約63% 硬化剤：約29%	主 剤：2,200mPa・s 硬化剤：約20mPa・s	主剤+硬化剤 12Kg/缶+3Kg/缶＝ 15Kg/セット 4Kg/缶+1Kg/缶＝5Kg/ セット
	S アロンウオール FC (DX) Aカラー用 シンナー	FC (DX) Aカラーの希釈	無色透明な芳香族系 有機溶剤溶液 消、危第4類第1石油類	—	—	14Kg/缶 3.5Kg/缶
	S アロンウオール FC (DX) スーパーカラー	防水層の化粧、表面保護 および汚染防止	2液反応硬化形アクリルウレタン樹脂 塗料 主剤：消、危第4類第1石油類 硬化剤：消、危第4類第1石油類	主 剤：約60% 硬化剤：約53%	主 剤：2,500mPa・s 硬化剤：約80mPa・s	主剤+硬化剤 12Kg/缶+4Kg/缶＝ 16Kg/セット 3Kg/缶+1Kg/缶＝4Kg/ セット
	S アロンウオール FC (DX) スーパー カラー用シンナー	アロンウオールFC (DX) スーパーカラーの希釈	無色透明な芳香族系有機溶剤溶液 消、危第4類第1石油類	—	—	14Kg/缶 3.5Kg/缶
	S アロンウオール シリコンFC (DX) カラー	防水層の化粧、表面保護 および汚染防止	2液反応硬化形弾性アクリル シリコン樹脂塗料 主剤：消、危第4類第1石油類 硬化剤：消、危第4類第1石油類	主 剤：約63% 硬化剤：約70%	主 剤：2,500mPa・s 硬化剤：約100mPa・s	主剤+硬化剤 10Kg/缶+5Kg/缶＝ 15Kg/セット 4Kg/缶+2Kg/缶＝6Kg/ セット
	S アロンウオール シリコンFC (DX) カラー用シンナー	シリコンFC (DX) カラーの希釈	無色透明な芳香族系有機溶剤溶液 消、危第4類第1石油類	—	—	14Kg/缶 3.5Kg/缶
	アロンウオール MS水性クリアー	防水層の化粧、表面保護 および汚染防止	水系アクリルシリコン樹脂クリアー 塗料 (3分乾)	—	—	15Kg/缶
消泡剤	アロンウオール STM工法用添加剤	アロンコート®STに添加してSTM 工法模様塗りの際の消泡と表面 乾燥抑制	消泡剤および乾燥遅延剤の水性混合溶 液 (静止すると2層分離)	アロンコート®ST18Kg/缶当たり容器1目 盛り (100mℓ) 添加		1,000mℓ/PE容器 3本/箱
シーリング 材	アロンシーラント PU-IN	目地、役物回りなどの線防水	湿気硬化形ノンブリード、1成分形 ポリウレタンシーリング材	約90%	—	320mℓカートリッジ 10本/段ボール箱
下地処理用 埋戻し材	カチオン アロンカチ オクリート ベース	30～50mm深さの欠損やはつり 跡に1回の塗りつけて埋め戻す	カチオン性アクリル樹脂エマルジョン	約45%	約15mPa・s	16Kg/缶
	アロンカチオク リートフィラー F-K		特殊速硬化セメント繊維および特殊軽 量骨材入り既調合セメントフィラー	—	—	15Kg/袋
下地処理材	カチオン アロンカチ オクリート ベース	下記既調合粉体 (フィラー) と混 ぜ、アロンカチオクリートとし て各種下地修正、修復に使用	カチオン性アクリル樹脂エマルジョン	約45%	約15mPa・s	16Kg/缶
	アロンカチオク リートフィラー	上記液体 (ベース) と混ぜ、アロ ンカチオクリートとして各種下 地修正、修復に使用	セメントおよび珪砂その他からなる 既調合灰白色セメントフィラー (F-0, F-1, F-2, F-3 ※1)	—	—	20Kg/クラフト袋
ピンニング材	アロン ケミカルピン	モルタルなどの浮き固定剥落防 止用の速硬化樹脂アンカース テム	カプセル 不飽和ポリエステル樹脂系接着剤 ガラス製2重管入り 50L：黄色 長さ50mm 60L：青色 長さ60mm 100L：黄色 長さ50mm 2本使用 ステンレス製十字穴付皿頭ボルト	—		50L、60L：250セット (カプセル250本、 ボルト250本) /箱 100L：250セット (カプセル500本、 ボルト250本) /箱
			ボルト 50LΦ5.3×50mm 60LΦ5.3×60mm 100LΦ5.3×100mm	—		
			ワッシャー 直径……Φ32 厚み……0.6mm	—	—	250枚
			アロンACC・ピン・ネット剥落防 止工法用アロンケミカルピン用 ワッシャー	アロンACC・ピン・ネット剥落防 止工法用アロンケミカルピン用 ワッシャー	—	—
着色剤	アロンコート用 水性着色剤 黒	アロンコートSTに添加しMS工法防 水材として使用	黒顔料水分散液	28～36%	—	145g×1本/箱
補強布	アロンPPメッシュ	アロンウオール・ピン・ネット剥落 防止工法用補強材	ポリプロピレン繊維製ネット 厚み0.5mm、 密度10×20 (本/25mm) 目付100 g/m ²	—	—	幅1,000mm 長さ100m/巻
	ビニロン繊維製 ネット	アロンACC・ピン・ネット剥落防止 工法用補強材	ビニロン繊維製ネット 目開き0.67本/cm	—	—	幅1,100mm 長さ100m/巻 (VK-0707)
	アロンメッシュ	防水層の強度を高め、下地の動きに 対する追従性向上	ポリエステル繊維メッシュ 幅1,040mm、長さ50m	—	—	1巻/箱 2巻/箱
目地材	アロンウオールMS 工法用目地棒	デザイン目地の現出 (両端突き合わせ)	両面 (二重) 離型紙付き ポリエチレンシート (幅：7mm、25mm、長さ1,000mm)	—	—	200本/箱
目地テープ	粘着テープ	目地補充用	幅8mm布製粘着テープ25m/巻	—	—	(一般市販品)
注入材	コニシ (株) ボンドF-シリーズ	主剤と硬化剤を混ぜ注入材として クラック、浮きの注入に	2液反応硬化形エポキシ樹脂	—	—	(一般市販品)

※1：アロンカチオクリートF-3は、鉄筋の防せい処理にも使用できます。

*仕上塗料の性状値は、白を基準に記載しています。

*溶剤系仕上塗料とシンナーの希釈比率は、工法によって希釈量が異なりますので、別途テクニカルインフォメーションをご覧ください。



販売部門



アロン化成株式会社

東日本支店 〒105-0003 東京都港区西新橋2-8-6
中日本支店 〒460-0003 名古屋市中区錦1-4-6
西日本支店 〒530-0005 大阪市北区中之島3-3-3
福岡支店 〒810-0001 福岡市中央区天神4-1-1
札幌営業所 〒060-0004 札幌市中央区北4条西4-1-7

TEL 03(3597)7342[ダイヤルイン]
TEL 052(209)8594[ダイヤルイン]
TEL 06(6446)6568[ダイヤルイン]
TEL 092(687)1415[ダイヤルイン]
TEL 011(804)8614[代表]

www.aronkasei.co.jp



☎ 0120-557-947 (フリーダイヤル)

www.toagosei.co.jp

